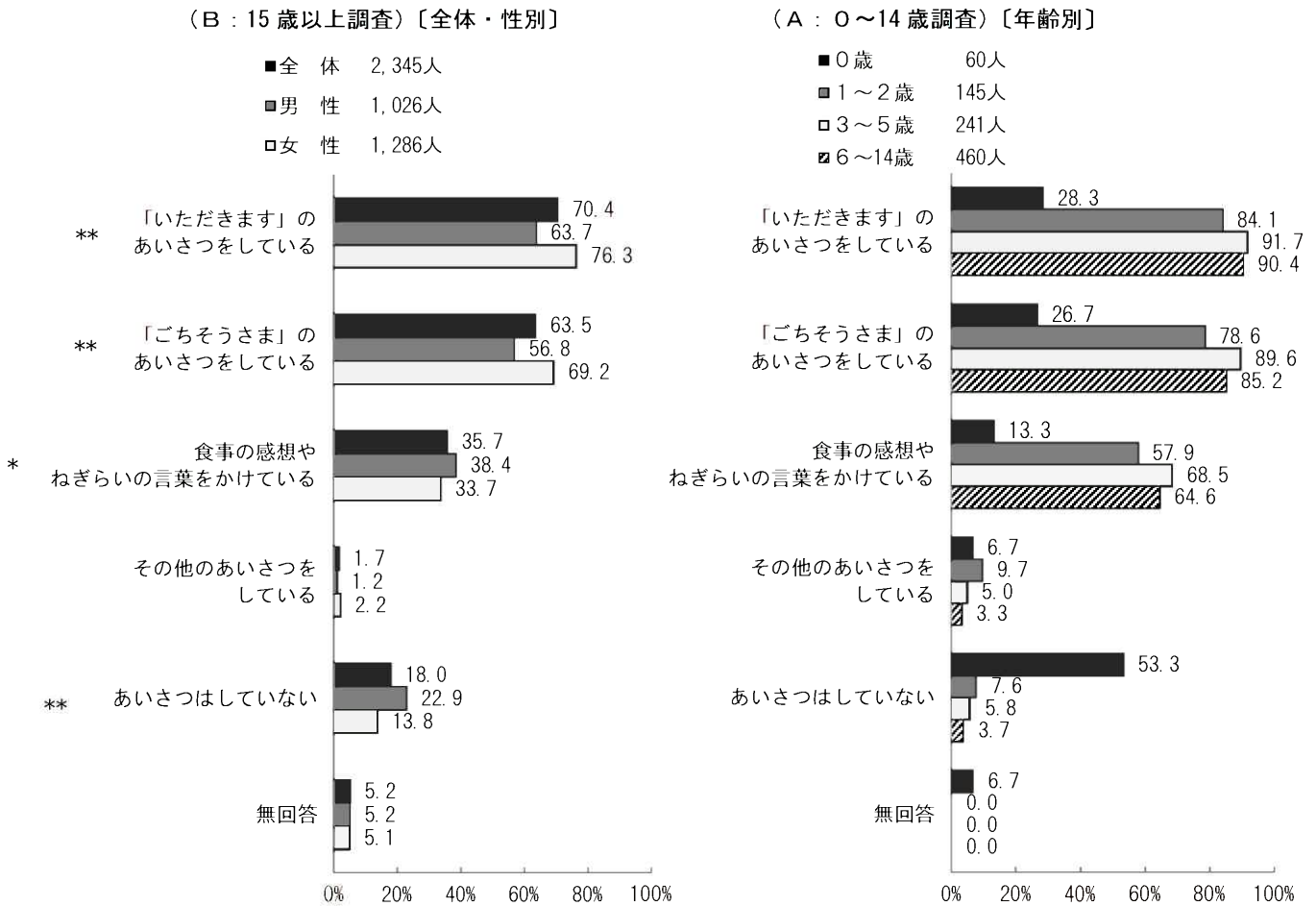


(38) 食事のあいさつをしていますか。(〇はあてはまるものすべて) <A : 問 15 / B : 問 38>

食事のあいさつをしているかについては、「『いただきます』のあいさつをしている」が最も高く、15歳以上調査では70.4%となっています。
 性別にみると、15歳以上調査では、女性で「『いただきます』のあいさつをしている」が76.3%、「『ごちそうさま』のあいさつをしている」が69.2%と有意に高くなっています。
 0～14歳調査で年齢別にみると、「3～5歳」で「『いただきます』のあいさつをしている」が91.7%と最も高くなっています。

図 38 食事のあいさつをしているか (複数回答)



「その他」の内容 (0～14歳調査)		「その他」の内容 (15歳以上調査)	
項目	件数	項目	件数
食事以外のあいさつ	19	料理・味の感想など	8
(まだ話せないので)動作で	5	宗教のお祈りなど	4
感謝	1	感謝の言葉	3
その他	13	その他	16

Ⅲ 調査結果

食事のあいさつをしているかについて、H23年調査と比較すると、「あいさつはしていない」が2.8ポイント増加しています。

H28年調査と比較すると、「『ごちそうさま』のあいさつをしている」は2.8ポイント増加しています。

表 38 食事のあいさつをしているか（複数回答）〔16歳以上・経年比較〕 単位：％、ポイント

項目	H23年調査	H28年調査	今回調査	今回調査－ H23年調査	今回調査－ H28年調査
「いただきます」の あいさつをしている	73.1	68.5	70.3	-2.8	1.8
「ごちそうさま」の あいさつをしている	64.0	60.5	63.3	-0.7	2.8
食事の感想やねぎらいの 言葉をかけている	37.8	33.2	35.6	-2.2	2.4
その他の あいさつをしている	2.2	2.1	1.7	-0.5	-0.4
あいさつはしていない	15.3	19.6	18.1	2.8	-1.5

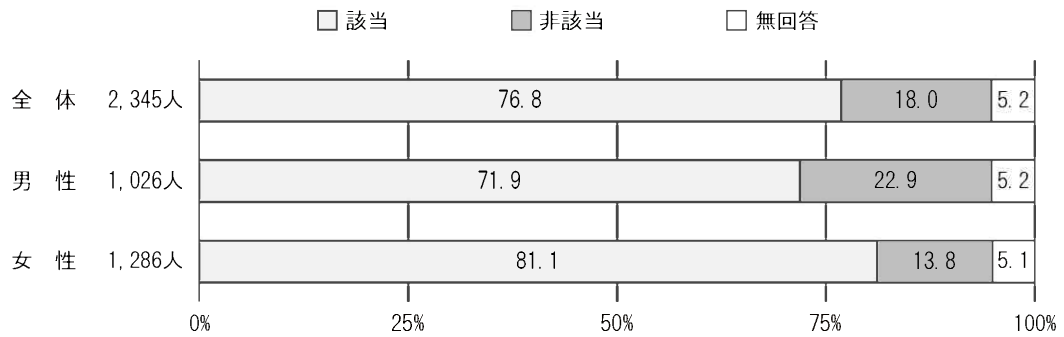
★何らかの食事のあいさつをしている人（A：問15／B：問38）

該当：A：問15／B：問38「食事のあいさつをしているか」で、『いただきます』のあいさつをしている』『ごちそうさま』のあいさつをしている「食事の感想やねぎらいの言葉をかけている」「その他のあいさつをしている」のいずれか1つ以上に○をした人
 非該当：A：問15／B：問38で「あいさつはしていない」に○をした人
 無回答：A：問15／B：問38が無回答の人

何らかの食事のあいさつをしている人の割合は、15歳以上調査では76.8%となっています。

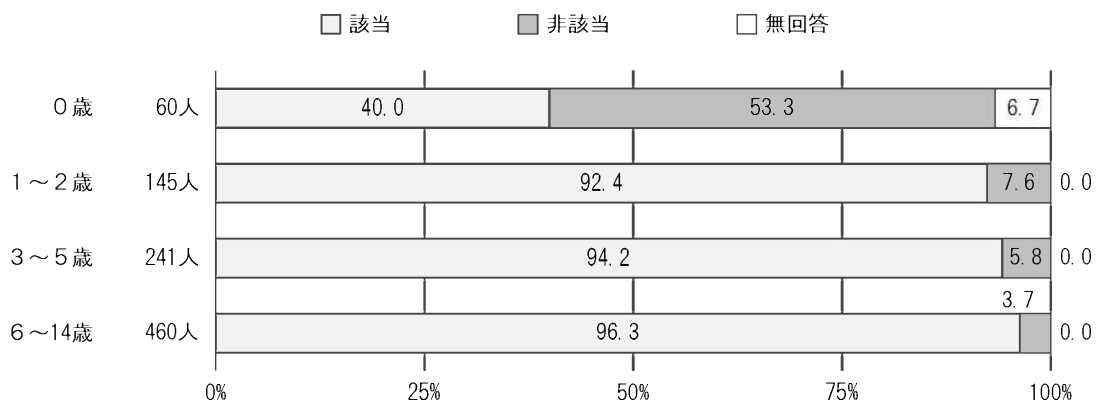
性別にみると、女性では「該当」が81.1%と、男性より9.2ポイント有意に高くなっています。

図38★.1 食事のあいさつをしている（B：15歳以上調査）〔全体・性別〕**



何らかの食事のあいさつをしている人の割合を、0～14歳調査で年齢別にみると、「該当」が「6～14歳」で96.3%と他の年齢より有意に高くなっています。

図38★.2 食事のあいさつをしている（A：0～14歳調査）〔年齢別〕**



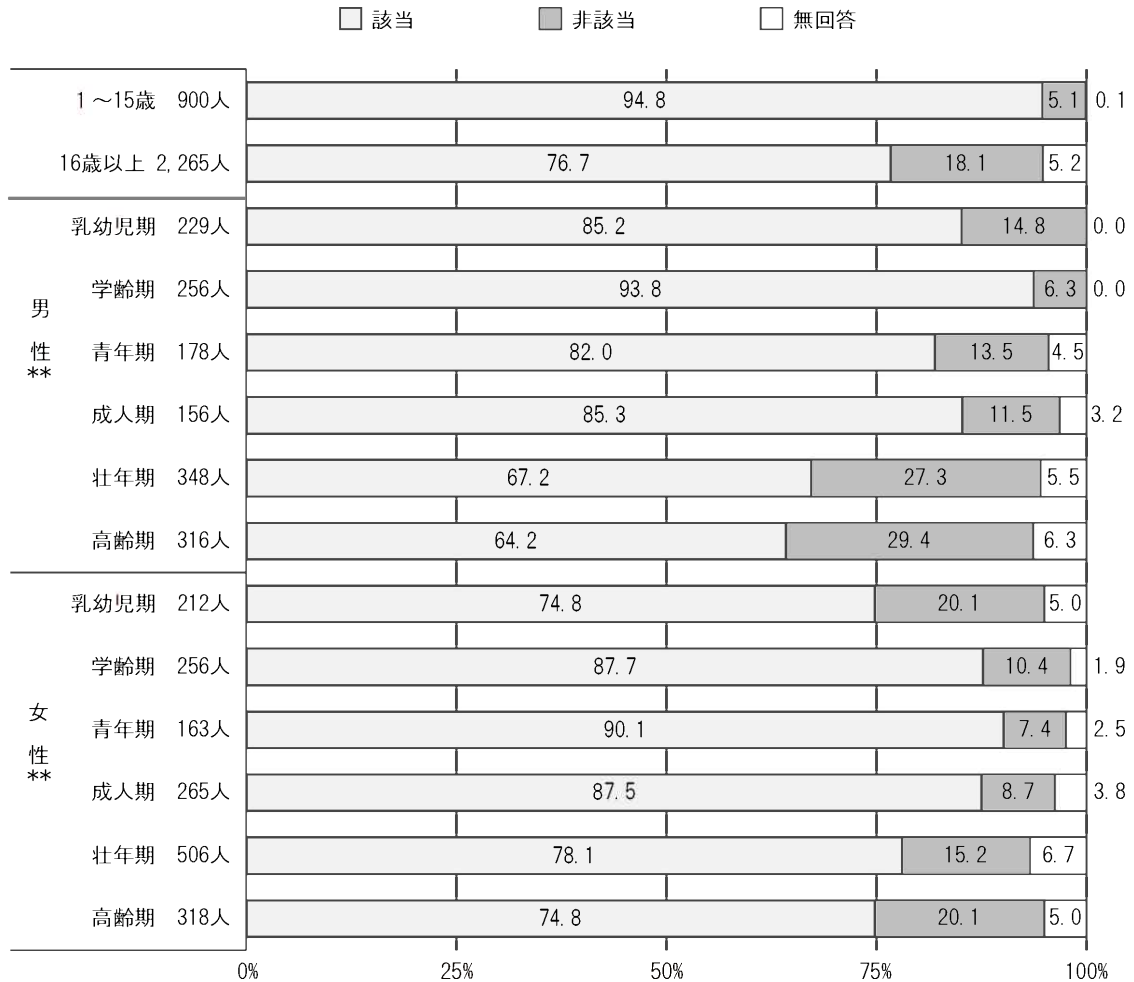
Ⅲ 調査結果

何らかの食事のあいさつをしている人の割合を性・ライフステージ別にみると、男性では「該当」が「乳幼児期」で85.2%、「学齢期」で93.8%、「成人期」で85.3%と他の年齢より有意に高くなっています。

女性では「該当」が「学齢期」で87.7%と有意に高くなっています。

※該当、非該当、無回答の条件は、P209 参照。

図 38★.3 食事のあいさつをしている（C：全年齢（AB合算））〔性・ライフステージ別〕



食事のあいさつをしている割合について、H23 年調査と比較すると、男性の「高齢期」で15.0ポイント有意に減少しています。

H28 年調査と比較すると、男性の「壮年期」で4.2ポイント減少しています。

表 38★ 食事のあいさつをしている割合（B：15歳以上調査）〔経年比較〕 単位：%、ポイント

項目		H23 年調査	H28 年調査	今回調査	今回調査－ H23 年調査	今回調査－ H28 年調査
男	青年期	80.6	81.3	82.0	1.4	0.7
	成人期	81.1	82.7	85.3	4.2	2.6
	壮年期	77.5	71.4	67.2	-10.3	-4.2
	高齢期	79.2	64.8	64.2	-15.0	-0.6
女	青年期	90.5	85.5	90.2	-0.3	4.7
	成人期	89.7	89.5	87.5	-2.2	-2.0
	壮年期	84.7	80.5	78.1	-6.6	-2.4
	高齢期	82.4	71.7	74.8	-7.6	3.1

計画における数値目標のデータ



「いただきます」、「ごちそうさま」などの食事のあいさつをしている人の割合

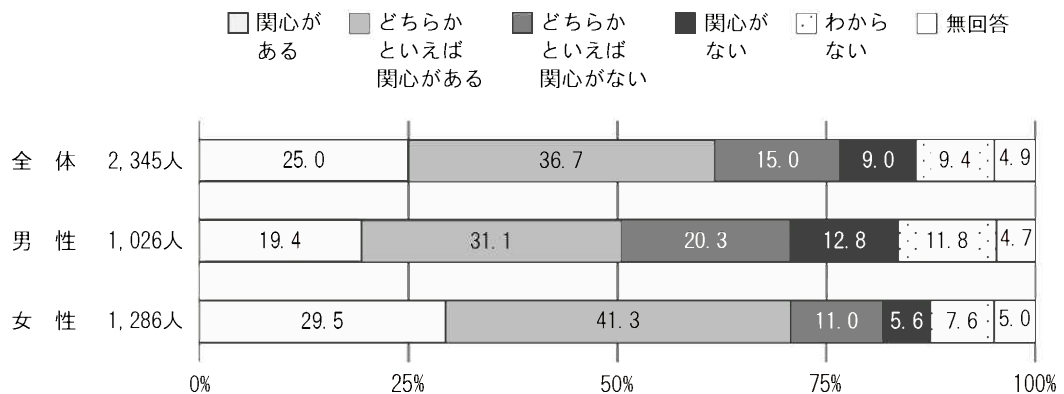
- 1～15歳 94.8% (目標値 増える (ベース値 95.6%))
 - 16歳以上 76.7% (目標値 85%以上)
- <A：問 15、B：問 38 で何らかの食事のあいさつをしていると答えた人の割合>

(39) あなたは、「食育」に関心がありますか。(〇は1つだけ) <B：問 39>

「食育」への関心の有無は、「関心がある」が 25.0%、「どちらかといえば関心がある」が 36.7%となっており、合わせて 61.7%が関心を示しています。

性別にみると、女性では「関心がある」が 29.5%、「どちらかといえば関心がある」が 41.3%と、男性より有意に高くなっています。

図 39.1 「食育」への関心の有無〔全体・性別〕**

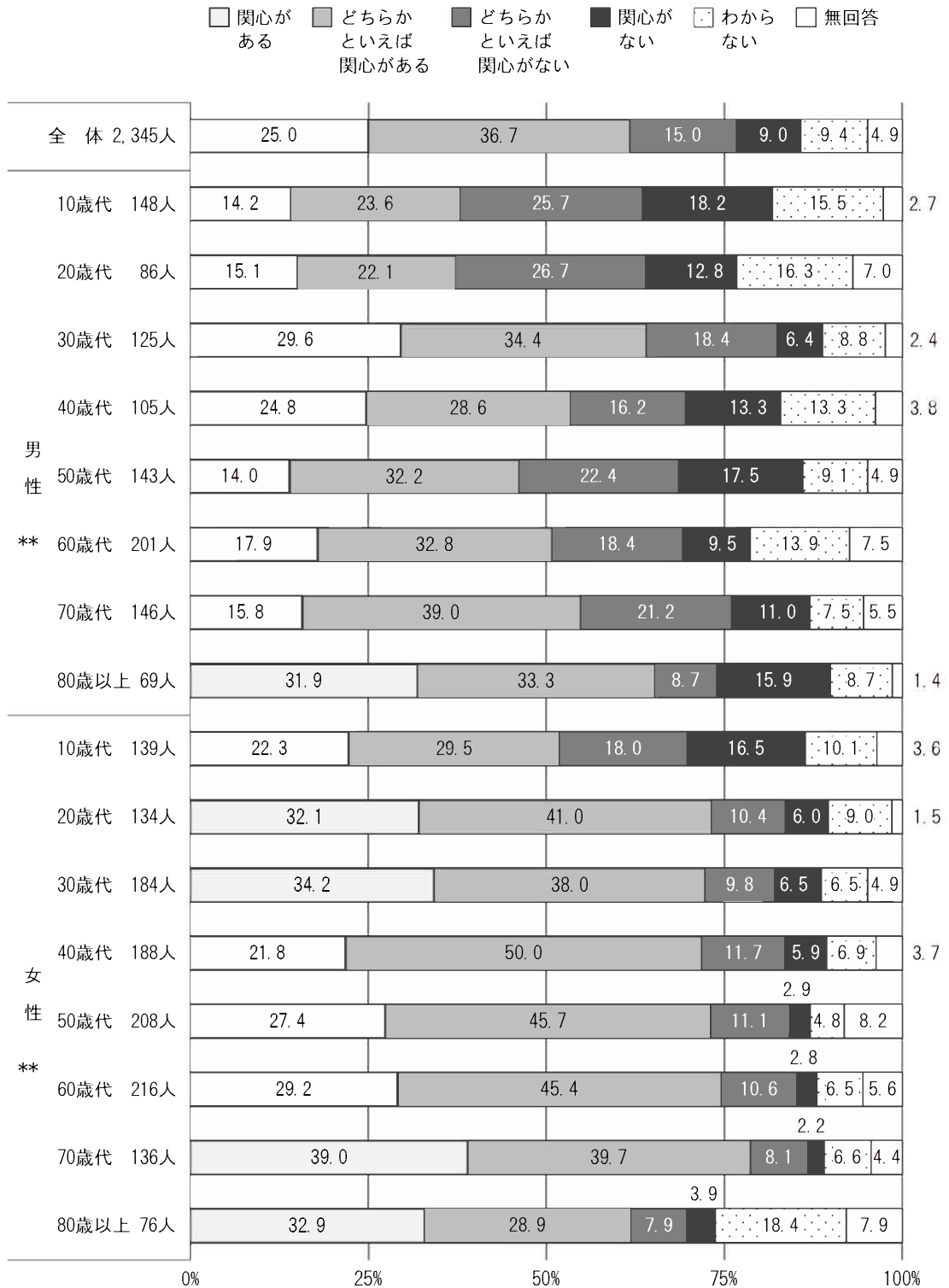


Ⅲ 調査結果

「食育」への関心の有無を性・年代別にみると、男性では「関心がある」が「30 歳代」で 29.6%、「80 歳以上」で 31.9%と他の年代より有意に高く、「関心がない」が「10 歳代」で 18.2%と有意に高くなっています。

女性では「関心がある」が「70 歳代」で 39.0%と有意に高く、「関心がない」が「10 歳代」で 16.5%と有意に高くなっています。

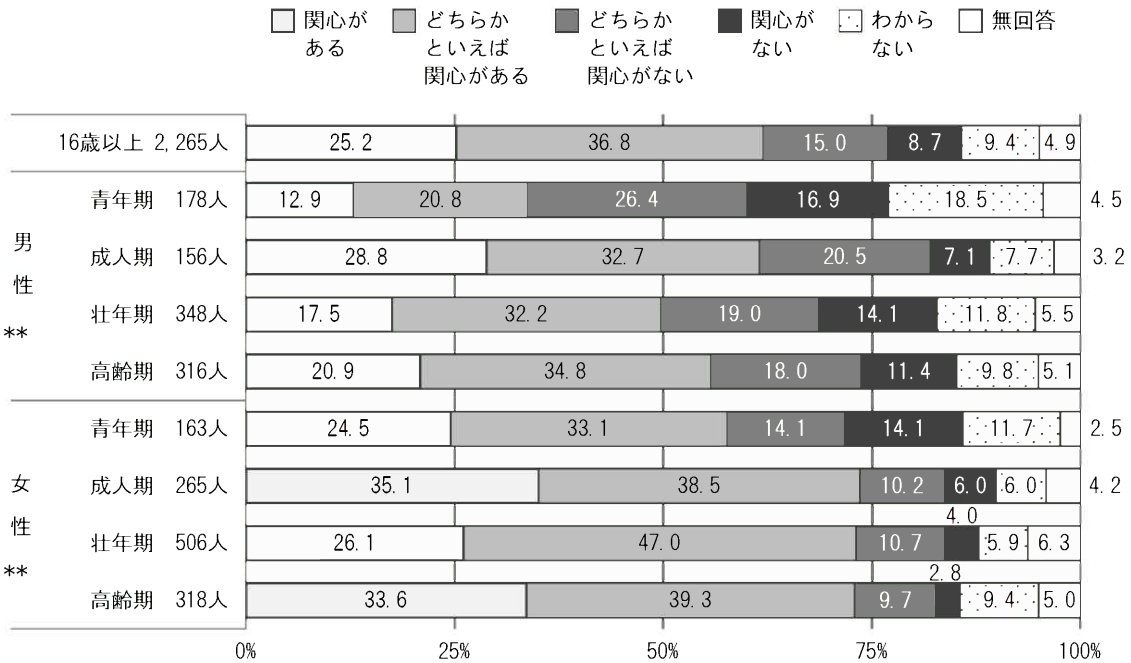
図 39.2 「食育」への関心の有無〔性・年代別〕



「食育」への関心の有無を性・ライフステージ別にみると、男性では「関心がある」が「成人期」で 28.8%と有意に高く、「わからない」が「青年期」で 18.5%と他のライフステージより有意に高くなっています。

女性では「関心がある」が「成人期」で 35.1%と有意に高く、「関心がない」が「青年期」で 14.1%と有意に高くなっています。

図 39.3 「食育」への関心の有無〔性・ライフステージ別〕



「食育」への関心がある割合について、H28年調査と比較すると、「関心がある」「どちらかといえば関心がある」を合わせた割合は、男性の「青年期」で 8.3 ポイント、女性の「青年期」で 8.8 ポイント減少しています。

表 39 「食育」への関心がある割合〔経年比較〕

単位：%、ポイント

項目	H28年調査			今回調査			今回調査－H28年調査	
	関心がある(1)	どちらかといえば関心がある(2)	A=(1)+(2)	関心がある(3)	どちらかといえば関心がある(4)	B=(3)+(4)	B-A	
16歳以上	25.5	37.8	63.3	25.2	36.8	62.0	-1.3	
男性	青年期	14.7	27.3	42.0	12.9	20.8	33.7	-8.3
	成人期	27.4	27.4	54.8	28.8	32.7	61.5	6.7
	壮年期	17.4	31.8	49.2	17.5	32.2	49.7	0.5
	高齢期	21.6	31.0	52.6	20.9	34.8	55.7	3.1
女性	青年期	27.7	38.7	66.4	24.5	33.1	57.6	-8.8
	成人期	35.0	39.8	74.8	35.1	38.5	73.6	-1.2
	壮年期	27.8	49.3	77.1	26.1	47.0	73.1	-4.0
	高齢期	30.0	42.2	72.2	33.6	39.3	72.9	0.7

計画における数値目標のデータ



食育に関心を持っている人の割合

- ・ 16歳以上 62.0% (目標値 85%以上)
- < 問 39 で「関心がある」「どちらかといえば関心がある」と答えた人の割合

Ⅲ 調査結果

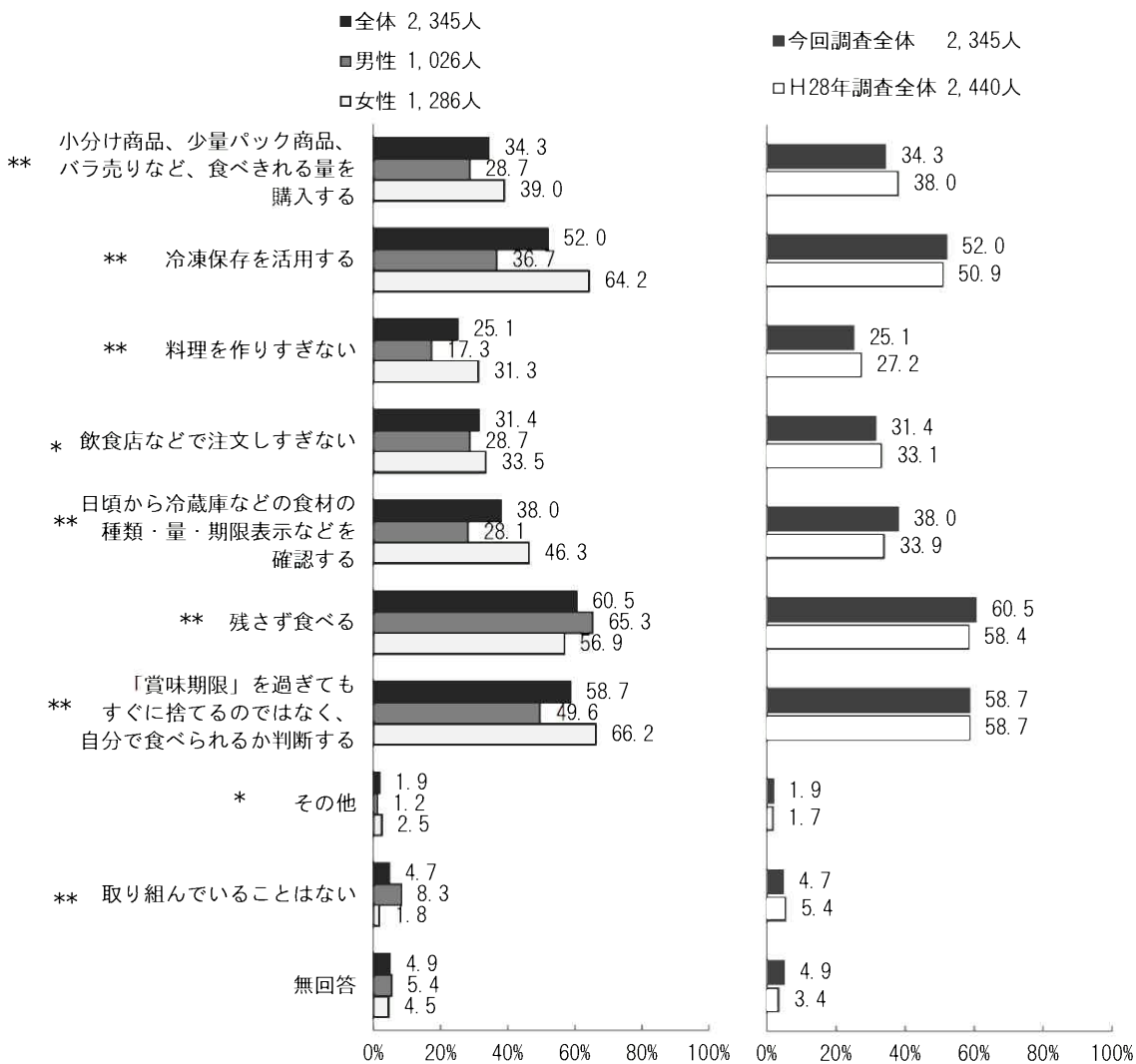
(40) あなたは、食品ロス（食べられるのに廃棄される食品）を減らすために取り組んでいることはありますか。（〇はあてはまるものすべて）＜B：問40＞

食品ロスを減らすための取組は、「残さず食べる」が60.5%と最も高く、次いで「『賞味期限』を過ぎててもすぐに捨てるのではなく、自分で食べられるか判断する」が58.7%、「冷凍保存を活用する」が52.0%となっています。

性別にみると、女性は「『賞味期限』を過ぎててもすぐに捨てるのではなく、自分で食べられるか判断する」が66.2%と、男性より16.6ポイント有意に高く、「冷凍保存を活用する」が64.2%と、男性より27.5ポイント有意に高くなっています。

H28年調査と比較すると、「小分け商品、少量パック商品、バラ売り等、食べきれる量を購入する」が34.3%と、3.7ポイント有意に減少しています。

図40 食品ロスを減らすための取組（複数回答）〔全体・性別・経年比較〕



「その他」の内容	
項目	件数
食材を使い切る	12
必要な量だけ取る・買う	6
賞味期限間際の商品を購入する	4
家族が行っているのでわからない	4
おすそわけ	2
作り置き・翌日も食べる	2
その他	14

★食品ロスを減らすために何らかの取組をしている人（問 40）

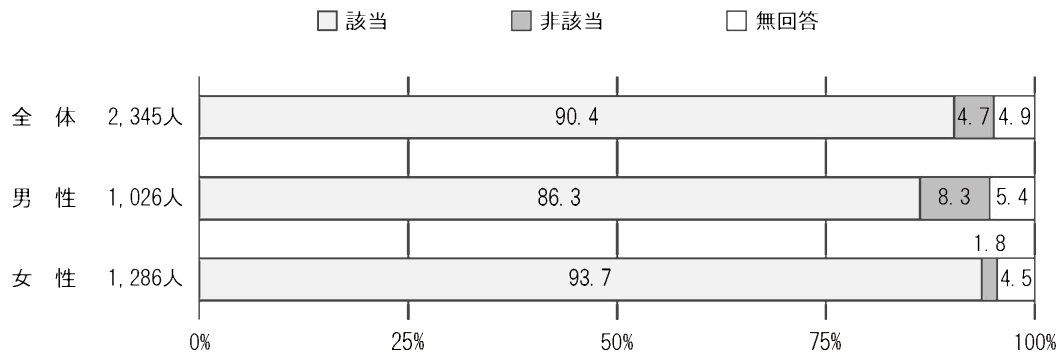
該当：問 40「食品ロスを減らすために取り組んでいることはあるか」で、「小分け商品、少量パック商品、バラ売り等、食べきれぬ量を購入する」「冷凍保存を活用する」「料理を作りすぎない」「飲食店等で注文しすぎない」「日頃から冷蔵庫等の食材の種類・量・期限表示等を確認する」「残さず食べる」「賞味期限を過ぎてもすぐに捨てるのではなく、自分で食べられるか判断する」「その他」のいずれか1つ以上に○をした人

非該当：問 40で「取り組んでいることはない」に○をした人

無回答：問 40が無回答の人

食品ロスを減らすために何らかの取組をしている人の割合は90.4%となっています。性別にみると、女性では、「該当」が93.7%と男性より7.4ポイント有意に高くなっています。

図 40★.1 食品ロスを減らすために何らかの取組をしている〔全体・性別〕**



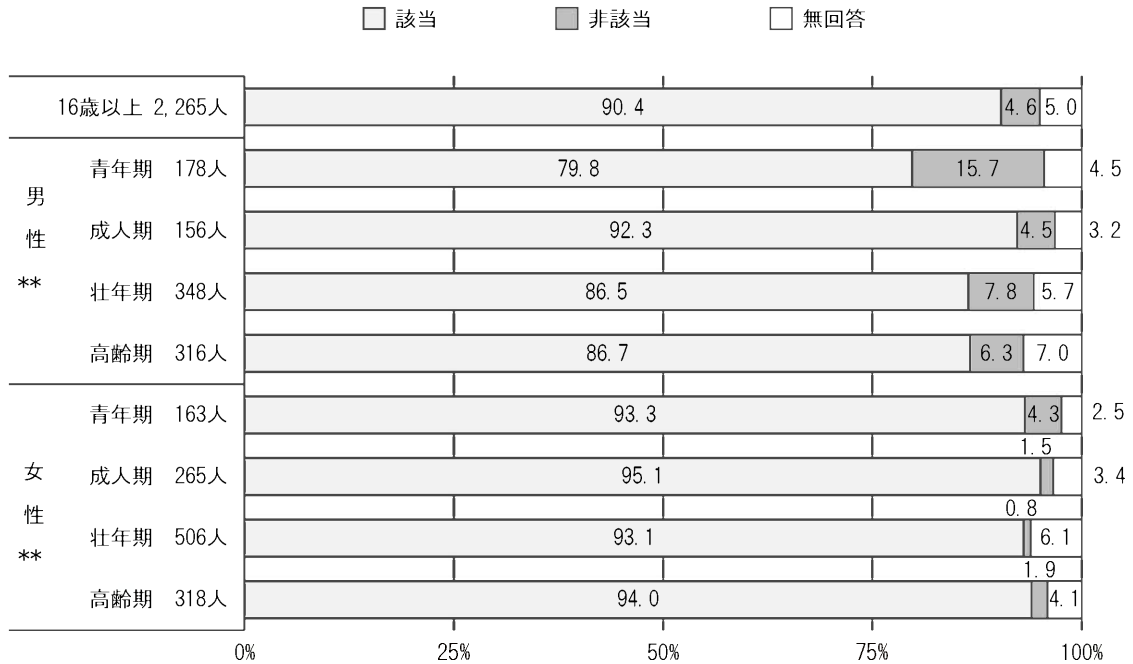
Ⅲ 調査結果

食品ロスを減らすために何らかの取組をしている人について、性・ライフステージ別にみると、男性では「該当」が「青年期」で79.8%と他のライフステージより有意に低くなっています。

女性では「該当」が「青年期」で93.3%と有意に低くなっています。

※該当、非該当、無回答の条件は、P215 参照。

図 40★.2 食品ロスを減らすために何らかの取組をしている〔性・ライフステージ別〕



食品ロスを減らすために何らかの取組をしている割合について、H28年調査と比較すると、男性の「成人期」で3.6ポイント増加しています。

表 40★ 食品ロスを減らすために何らかの取組をしている割合〔経年比較〕単位：%、ポイント

項目	H28年調査	今回調査	今回調査－ H28年調査	
16歳以上	91.6	90.4	-1.2	
男性	青年期	84.0	79.8	-4.2
	成人期	88.7	92.3	3.6
	壮年期	89.0	86.5	-2.5
	高齢期	87.5	86.7	-0.8
女性	青年期	90.2	93.3	3.1
	成人期	97.4	95.1	-2.3
	壮年期	96.3	93.1	-3.2
	高齢期	92.9	94.0	1.1

計画における数値目標のデータ



残さず食べるなど、食品ロスの削減に取り組んでいる人の割合

- ・16歳以上 90.4% (目標値 93%以上)
- <問 40 で何らかの取組をしていると答えた人の割合>

(41) あなたは、食品を購入するときに次のことを確認していますか。

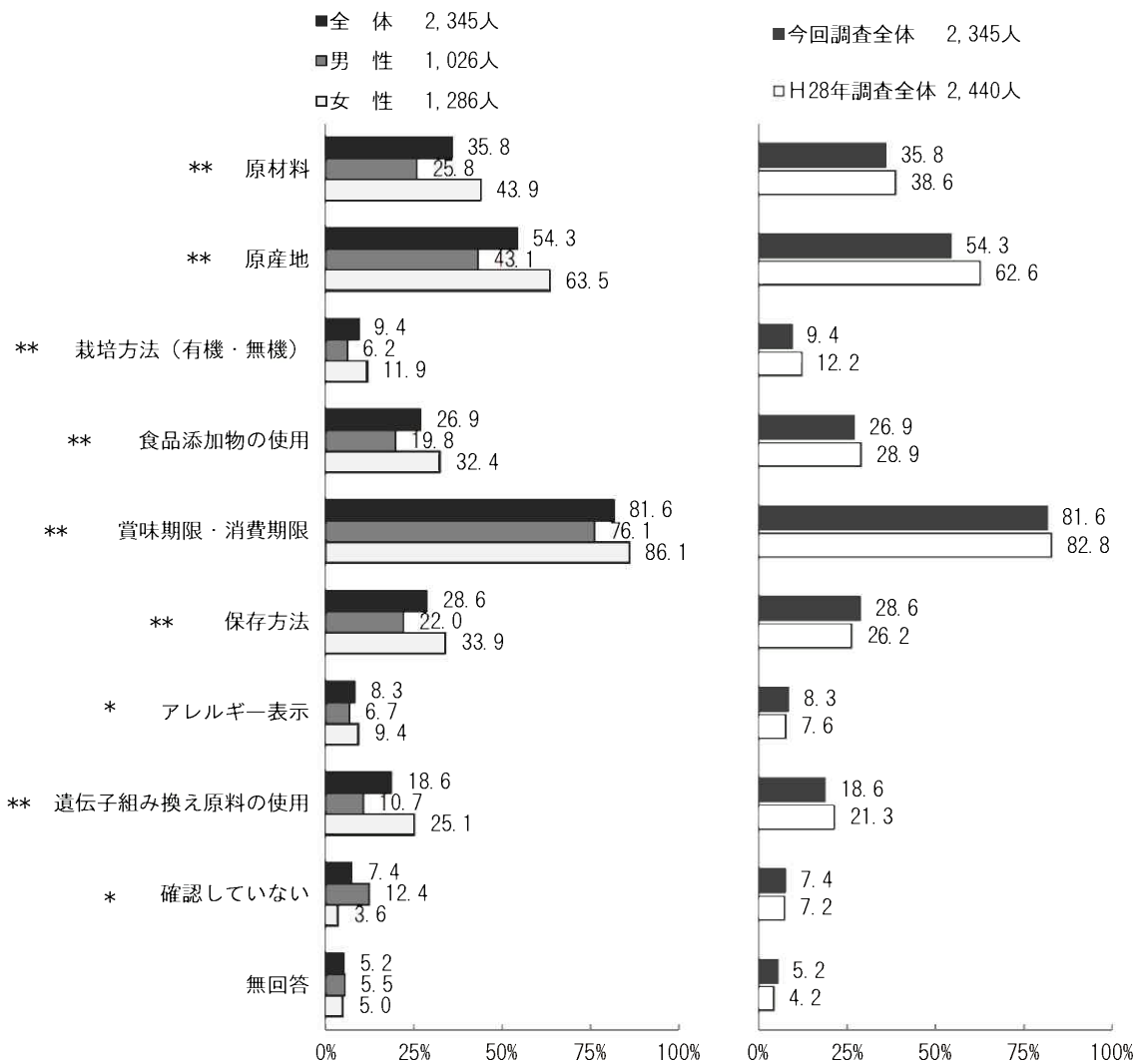
(○はあてはまるものすべて) <B: 問41>

食品購入の際に確認することは、全体では「賞味期限・消費期限」が81.6%と最も高く、次いで「原産地」が54.3%、「原材料」が35.8%となっています。

性別にみると、女性は「原産地」が63.5%と、男性より20.4ポイント有意に高く、「原材料」が43.9%と、男性より18.1ポイント有意に高く、「遺伝子組み換え原料の使用」が25.1%と、男性より14.4ポイント有意に高くなっています。

H28年調査と比較すると、「保存方法」が2.4ポイント有意に増加しています。

図41 食品購入の際に確認すること（複数回答）〔全体・性別・経年比較〕



Ⅲ 調査結果

★食品購入の際に何らかの確認をしている人（問 41）

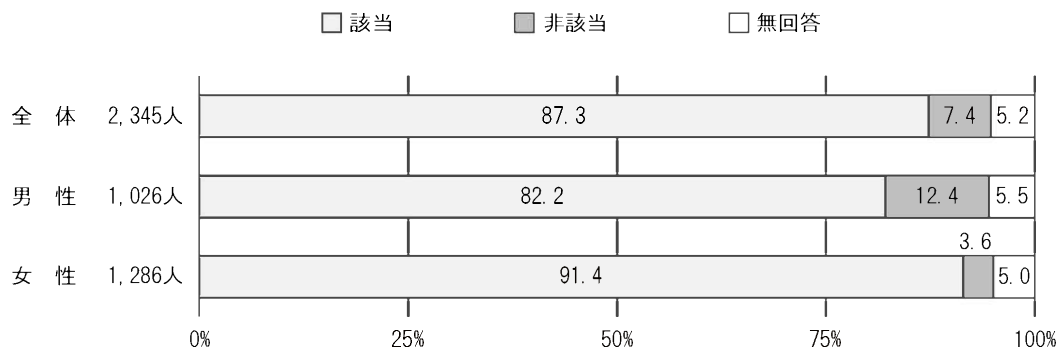
該当：問 41「食品を購入するときに次のことを確認するか」で、「原材料」「原産地」「栽培方法（有機・無機）」「食品添加物の使用」「賞味期限・消費期限」「保存方法」「アレルギー表示」「遺伝子組み換え原料の使用」のいずれか1つ以上に○をした人

非該当：問 41 で「確認していない」に○をした人

無回答：問 41 が無回答の人

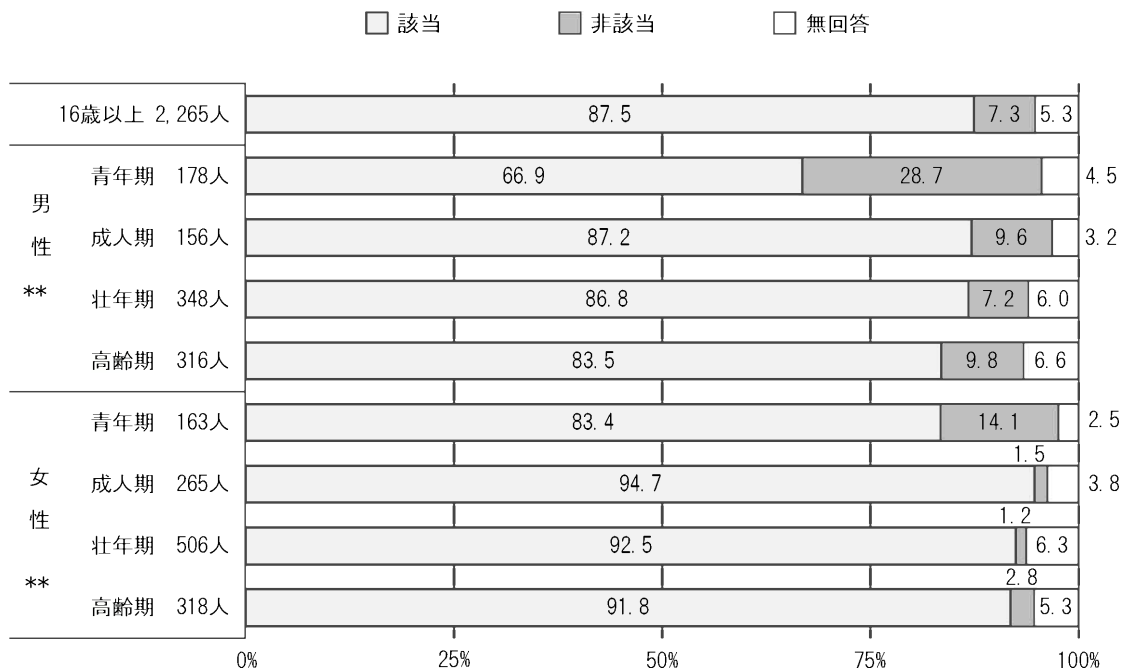
食品購入の際に何らかの確認をしている人の割合は、87.3%となっています。
性別にみると、女性では、「該当」が91.4%と男性より9.2ポイント有意に高くなっています。

図 41★.1 食品購入の際に何らかの確認をしている〔全体・性別〕**



食品購入の際に何らかの確認をしている人について、性・ライフステージ別にみると、男性では「該当」が「壮年期」で86.8%と他のライフステージより有意に高く、「非該当」が「青年期」で28.7%と有意に高くなっています。
女性では「該当」が「壮年期」で92.5%と有意に高く、「非該当」が「青年期」で14.1%と有意に高くなっています。

図 41★.2 食品購入の際に何らかの確認をしている〔性・ライフステージ別〕



食品購入の際に何らかの確認をしている割合について、H23 年調査と比較すると、女性の「青年期」で 6.3 ポイント有意に減少しています。

H28 年調査と比較すると、男性の「青年期」と「成人期」でともに 5.1 ポイント減少しています。

表 41★ 食品購入の際に何らかの確認をしている割合〔経年比較〕

単位：％、ポイント

項目		H23 年調査	H28 年調査	今回調査	*	
					今回調査－ H23 年調査	今回調査－ H28 年調査
16 歳以上		90.1	88.8	87.5	-2.6	-1.3
男性	青年期	77.8	72.0	66.9	-10.9	-5.1
	成人期	88.9	92.3	87.2	-1.7	-5.1
	壮年期	90.8	85.3	86.8	-4.0	1.5
	高齢期	79.2	79.8	83.5	4.3	3.7
女性	青年期	89.7	87.9	83.4	-6.3	-4.5
	成人期	97.8	97.4	94.7	-3.1	-2.7
	壮年期	97.1	96.3	92.5	-4.6	-3.8
	高齢期	89.1	91.0	91.8	2.7	0.8

計画における数値目標のデータ



食品表示を見て食品を購入する人の割合

- ・16 歳以上 87.5% (目標値 95%以上)
- <問 41 で何か 1 つでも確認していると答えた人の割合>

Ⅲ 調査結果

(42) あなたは、食中毒を防ぐために家庭で次のことに気をつけていますか。

(○はア、イ、ウそれぞれに1つずつ) < B : 問 42 >

ア. 食品の保存方法について

食中毒を防ぐために、食品の保存方法については「気をつけている」が51.7%、「ある程度は気をつけている」が35.8%となっており、合わせて87.5%が気をつけています。

性別にみると、女性は「気をつけている」が56.8%と、男性より11.6ポイント有意に高くなっています。

H28年調査と比較すると、「気をつけている」が6.4ポイント有意に増加しています。

図 42-ア.1 食品の保存方法を気をつけているか【全体・性別】**

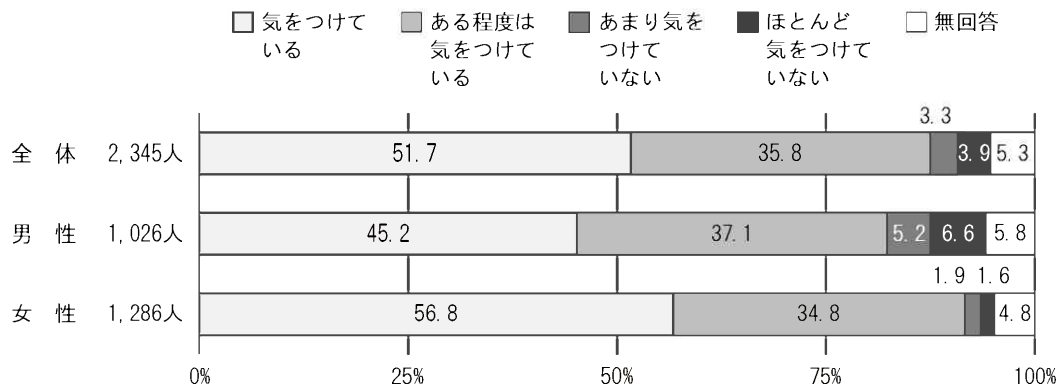
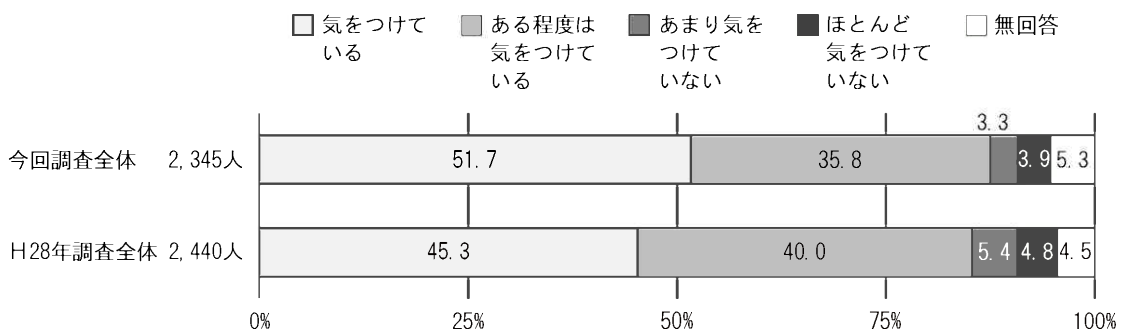


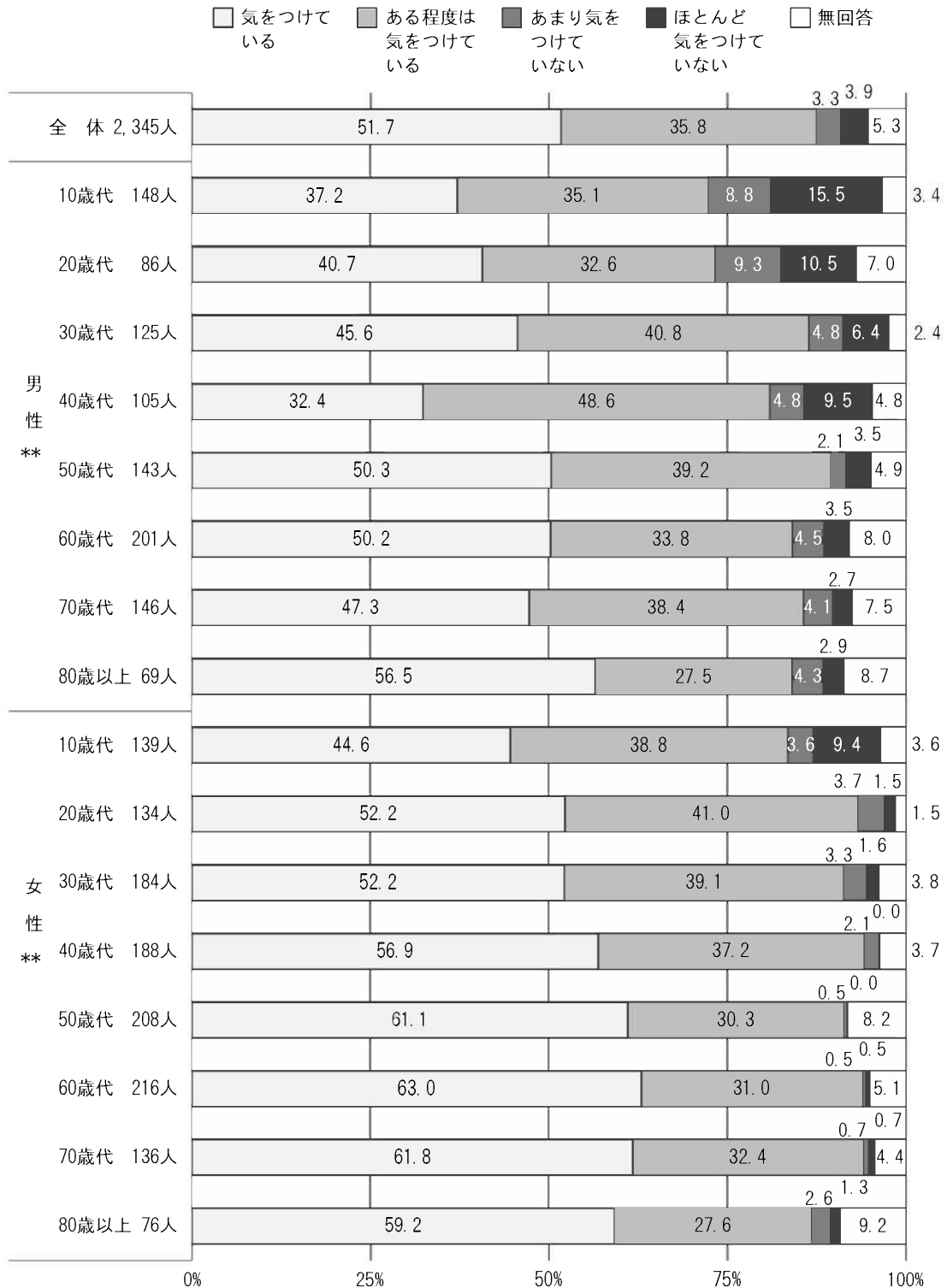
図 42-ア.2 食品の保存方法を気をつけているか【経年比較】**



食中毒を防ぐために、食品の保存方法を気をつけているかについて性・年代別にみると、男性では「気をつけている」が「60歳代」で50.2%、「80歳以上」で56.5%と他の年代より有意に高く、「ほとんど気をつけていない」が「10歳代」で15.5%と有意に高くなっています。

女性では「気をつけている」が「50歳代」で61.1%、「60歳代」で63.0%と有意に高く、「ほとんど気をつけていない」が「10歳代」で9.4%と有意に高くなっています。

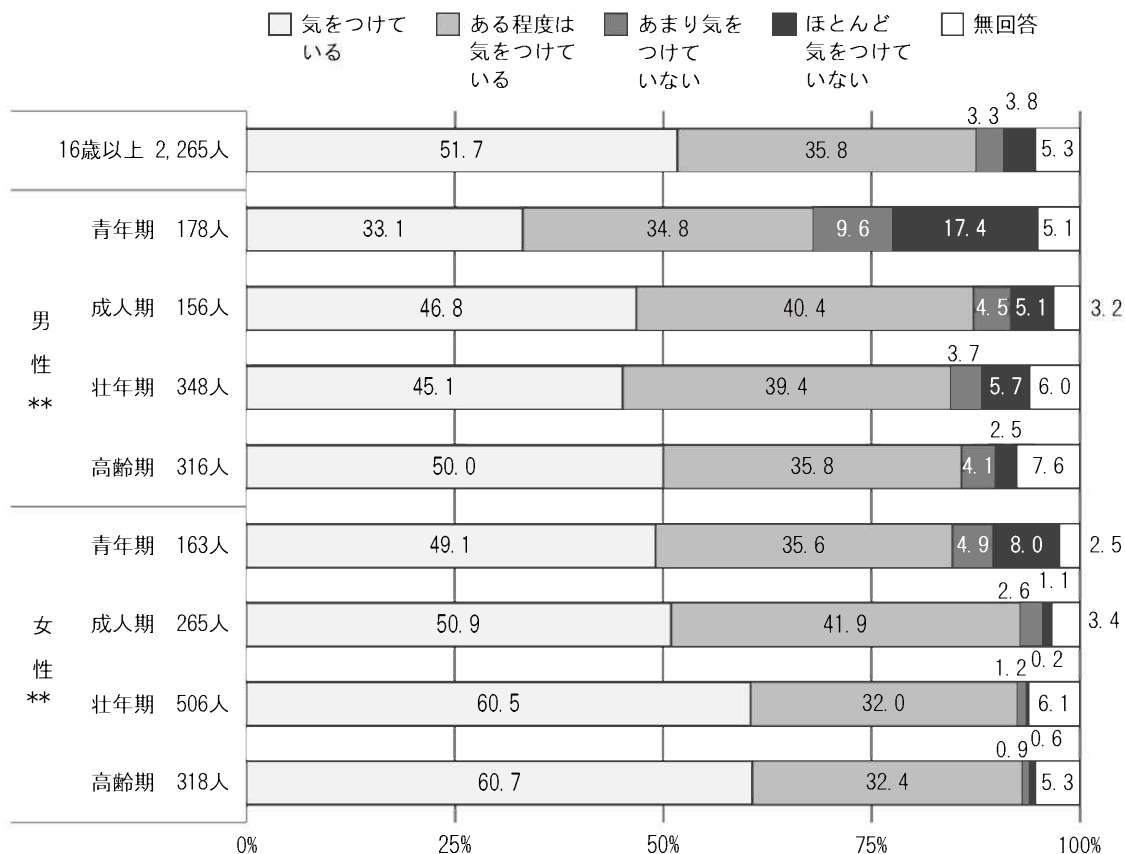
図 42-ア.3 食品の保存方法を気をつけているか〔性・年代別〕



Ⅲ 調査結果

食中毒を防ぐために、食品の保存方法を気をつけているかについて性・ライフステージ別にみると、男性では「気をつけている」が「高齢期」で50.0%と他のライフステージより有意に高く、「ほとんど気をつけていない」が「青年期」で17.4%と有意に高くなっています。
 女性では「気をつけている」が「壮年期」で60.5%と有意に高く、「ほとんど気をつけていない」が「青年期」で8.0%と有意に高くなっています。

図 42-ア.4 食品の保存方法を気をつけているか【性・ライフステージ別】



イ. 調理の方法について

食中毒を防ぐために、調理の方法について「気をつけている」が46.8%、「ある程度は気をつけている」が35.8%となっており、合わせて82.6%が気をつけています。

性別にみると、女性は「気をつけている」が55.7%と、男性より20.1ポイント有意に高くなっています。

H28年調査と比較すると、「気をつけている」が7.0ポイント有意に増加しています。

図 42-イ.1 調理方法を気をつけているか〔全体・性別〕**

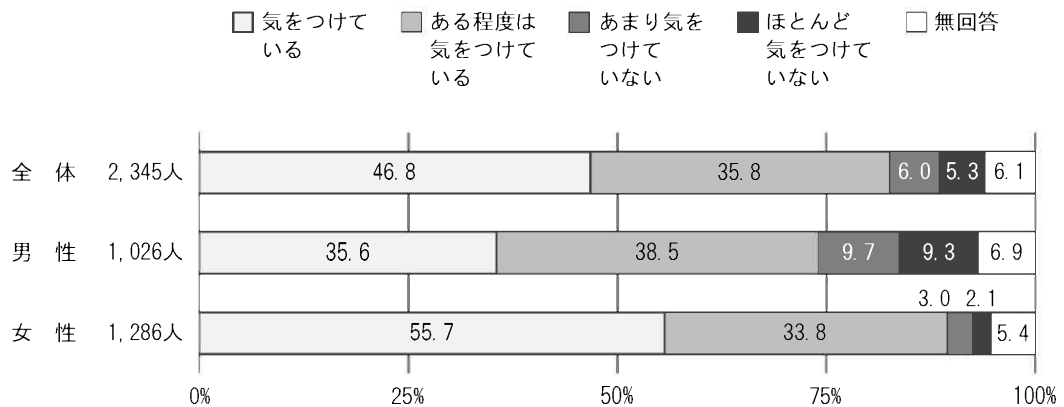
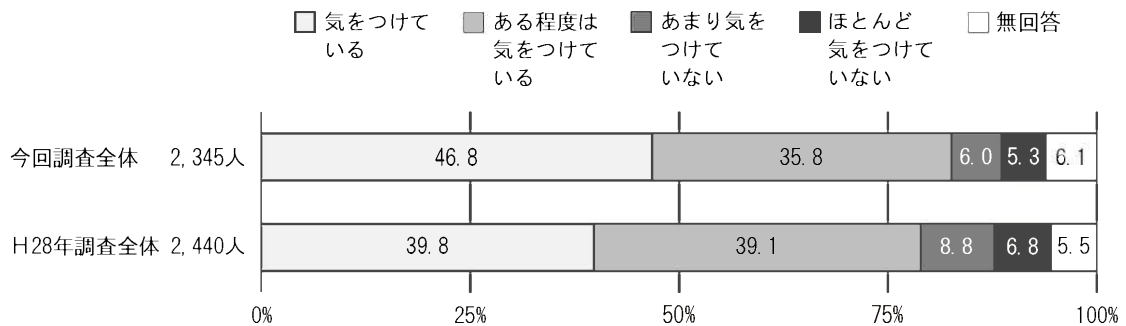


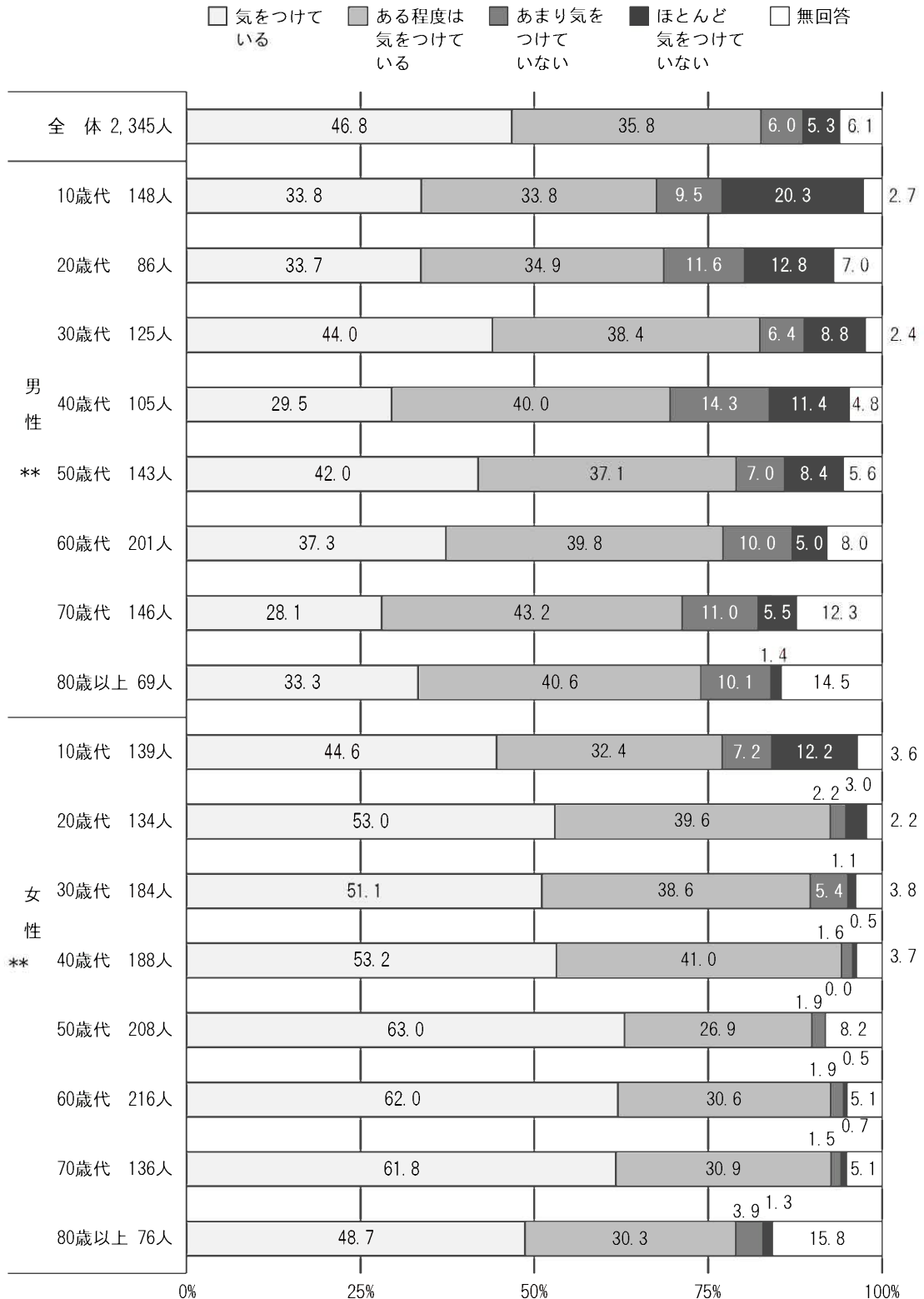
図 42-イ.2 調理方法を気をつけているか〔経年比較〕**



Ⅲ 調査結果

食中毒を防ぐために、調理の方法を気をつけているかについて性・年代別にみると、男性では「気をつけている」が「30 歳代」で 44.0%、「50 歳代」で 42.0%となっており、「ほとんど気をつけていない」が「10 歳代」で 20.3%と他の年代より有意に高くなっています。
 女性では「気をつけている」が「50 歳代」で 63.0%、「60 歳代」で 62.0%と有意に高く、「ほとんど気をつけていない」が「10 歳代」で 12.2%と有意に高くなっています。

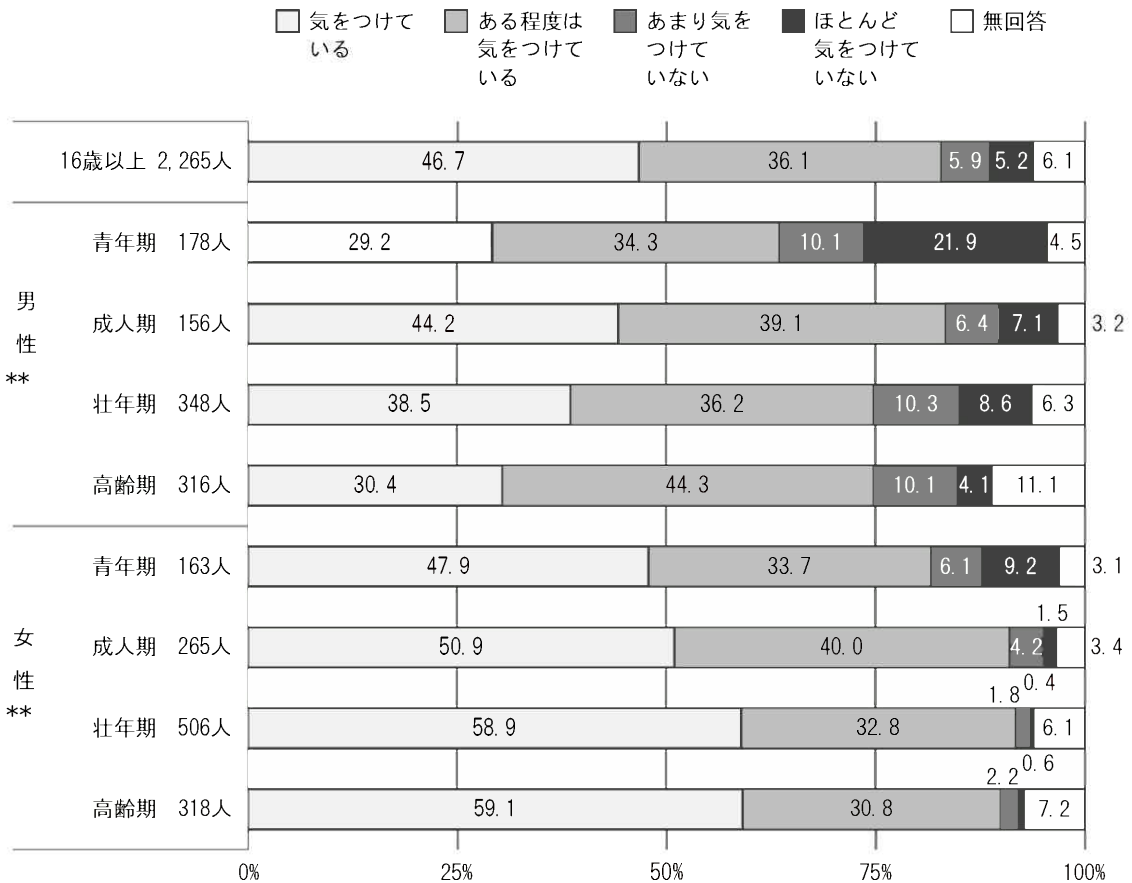
図 42-イ.3 調理方法を気をつけているか〔性・年代別〕



食中毒を防ぐために、調理の方法を気をつけているかについて性・ライフステージ別にみると、男性では「気をつけている」が「成人期」で44.2%と他のライフステージより有意に高く、「ほとんど気をつけていない」が「青年期」で21.9%と有意に高くなっています。

女性では「気をつけている」が「壮年期」で58.9%と有意に高く、「ほとんど気をつけていない」が「青年期」で9.2%と有意に高くなっています。

図 42-イ.4 調理方法を気をつけているか〔性・ライフステージ別〕



ウ. 調理器具の洗浄・消毒方法

食中毒を防ぐために、調理器具の洗浄・消毒方法について「気をつけている」が 44.4%、「ある程度は気をつけている」が 37.1%となっており、合わせて 81.5%が気をつけています。

性別にみると、女性は「気をつけている」が 48.4%と、男性より 9.2 ポイント有意に高くなっています。

図 42-ウ.1 調理器具の洗浄・消毒方法を気をつけているか〔全体・性別〕**

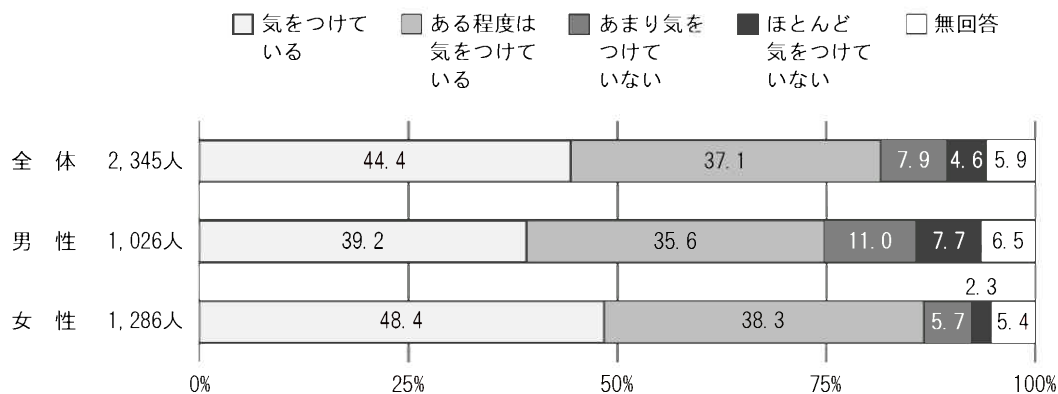
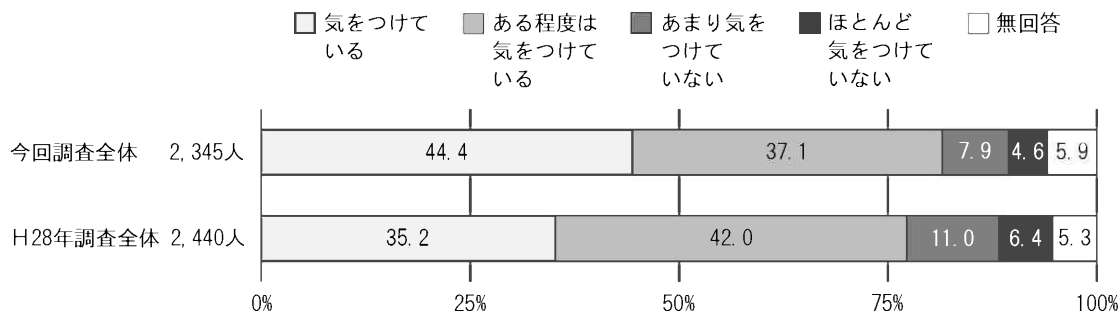
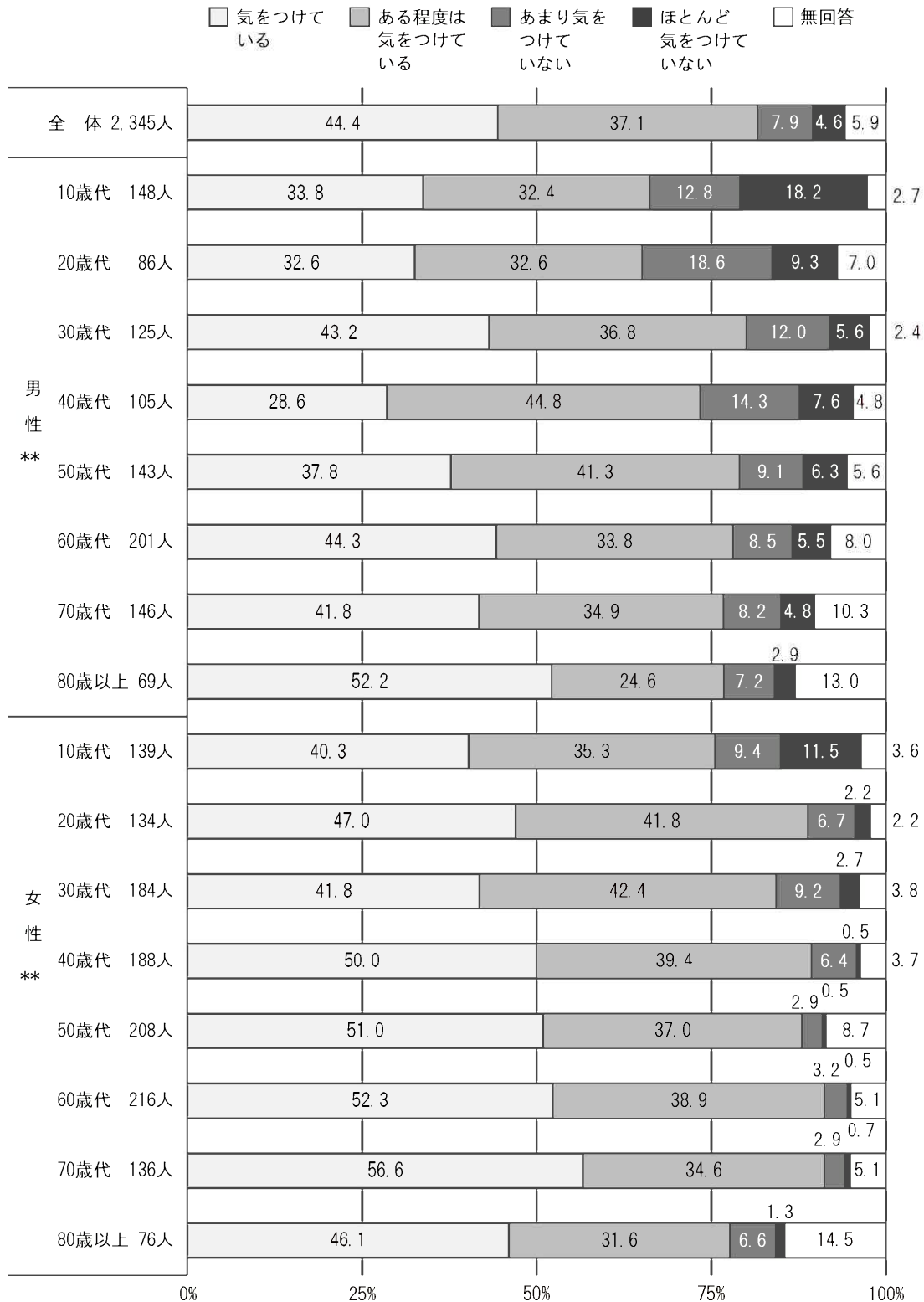


図 42-ウ.2 調理器具の洗浄・消毒方法を気をつけているか〔経年比較〕**



食中毒を防ぐために、調理器具の洗浄・消毒方法を気をつけているかについて性・年代別にみると、男性では「気をつけている」が「80歳以上」で52.2%と他の年代より有意に高く、「ほとんど気をつけていない」が「10歳代」で18.2%と有意に高くなっています。
 女性では「気をつけている」が「70歳代」で56.6%と有意に高く、「ほとんど気をつけていない」が「10歳代」で11.5%と有意に高くなっています。

図 42-ウ.3 調理器具の洗浄・消毒方法を気をつけているか〔性・年代別〕

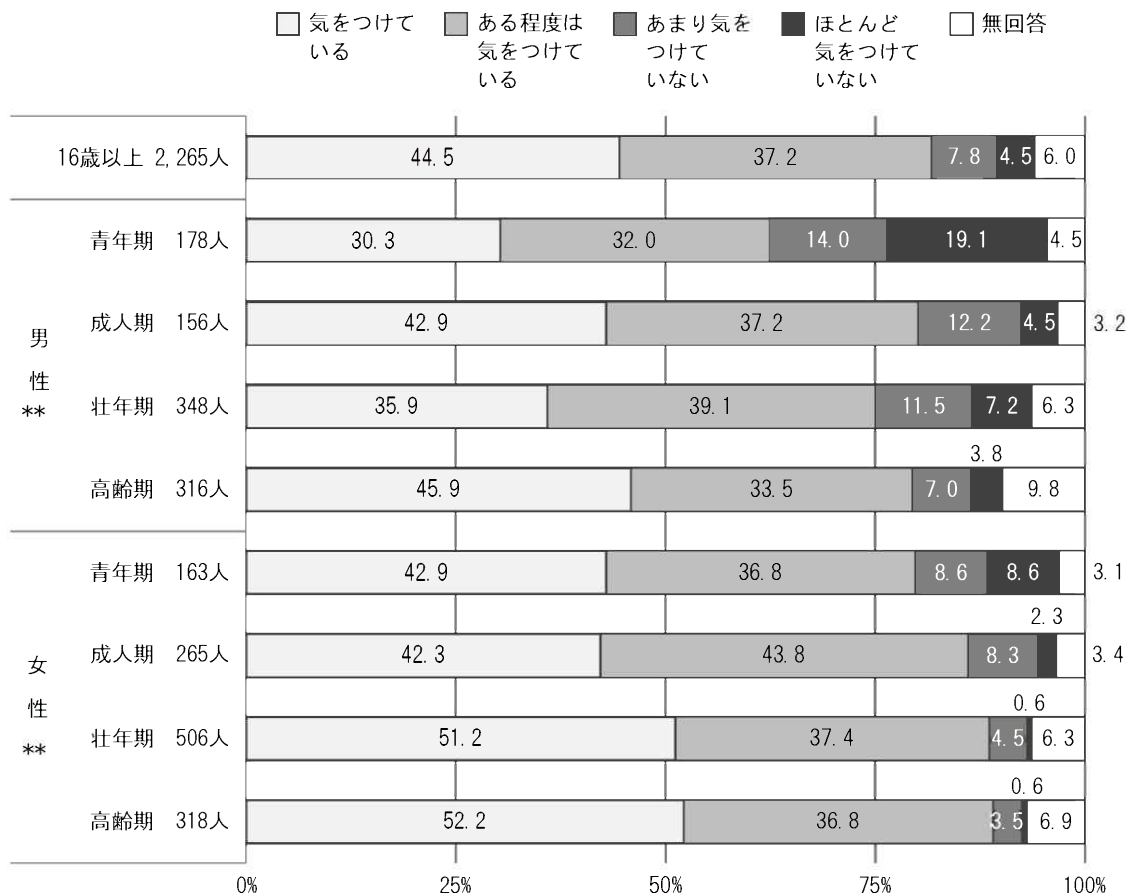


Ⅲ 調査結果

食中毒を防ぐために、調理器具の洗浄・消毒方法を気をつけているかについて性・ライフステージ別にみると、男性では「気をつけている」が「高齢期」で45.9%と他のライフステージより有意に高く、「ほとんど気をつけていない」が「青年期」で19.1%と有意に高くなっています。

女性では「気をつけている」が「成人期」で42.3%と有意に低く、「ほとんど気をつけていない」が「青年期」で8.6%と有意に高くなっています。

図 42-ウ.4 調理器具の洗浄・消毒方法を気をつけているか〔性・ライフステージ別〕

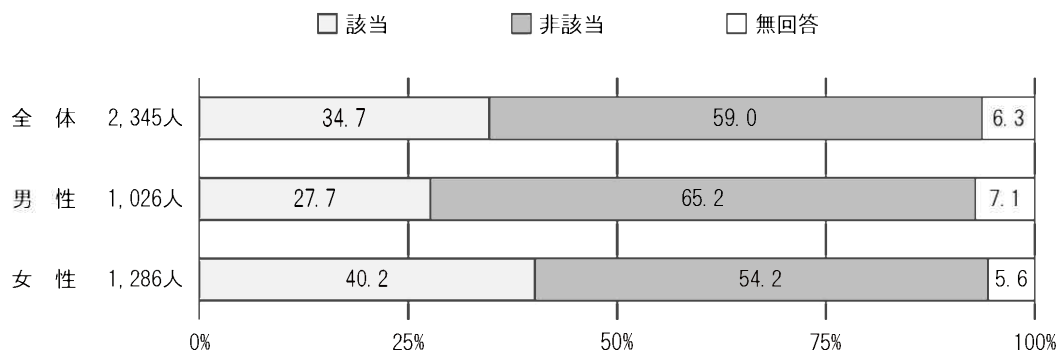


★食中毒を防ぐ方法すべて気をつけている人（問 42）

該当：問 42「食中毒を防ぐために家庭で次のことに気をつけているか」で、「食品の保存方法」「調理の方法」「調理器具の洗浄・消毒方法」すべて「気をつけている」に○をした人
 非該当：問 42で、「食品の保存方法」「調理の方法」「調理器具の洗浄・消毒方法」すべて回答しており、1つでも「ある程度は気をつけている」「あまり気をつけていない」「ほとんど気をつけていない」に○をした人
 無回答：問 42で、「食品の保存方法」「調理の方法」「調理器具の洗浄・消毒方法」1つでも無回答がある人

食中毒を防ぐ方法すべて気をつけている人の割合は、34.7%となっています。
 性別にみると、女性では40.2%と、男性より12.5ポイント有意に高くなっています。

図 42★.1 食中毒を防ぐ方法すべて気をつけている〔全体・性別〕**



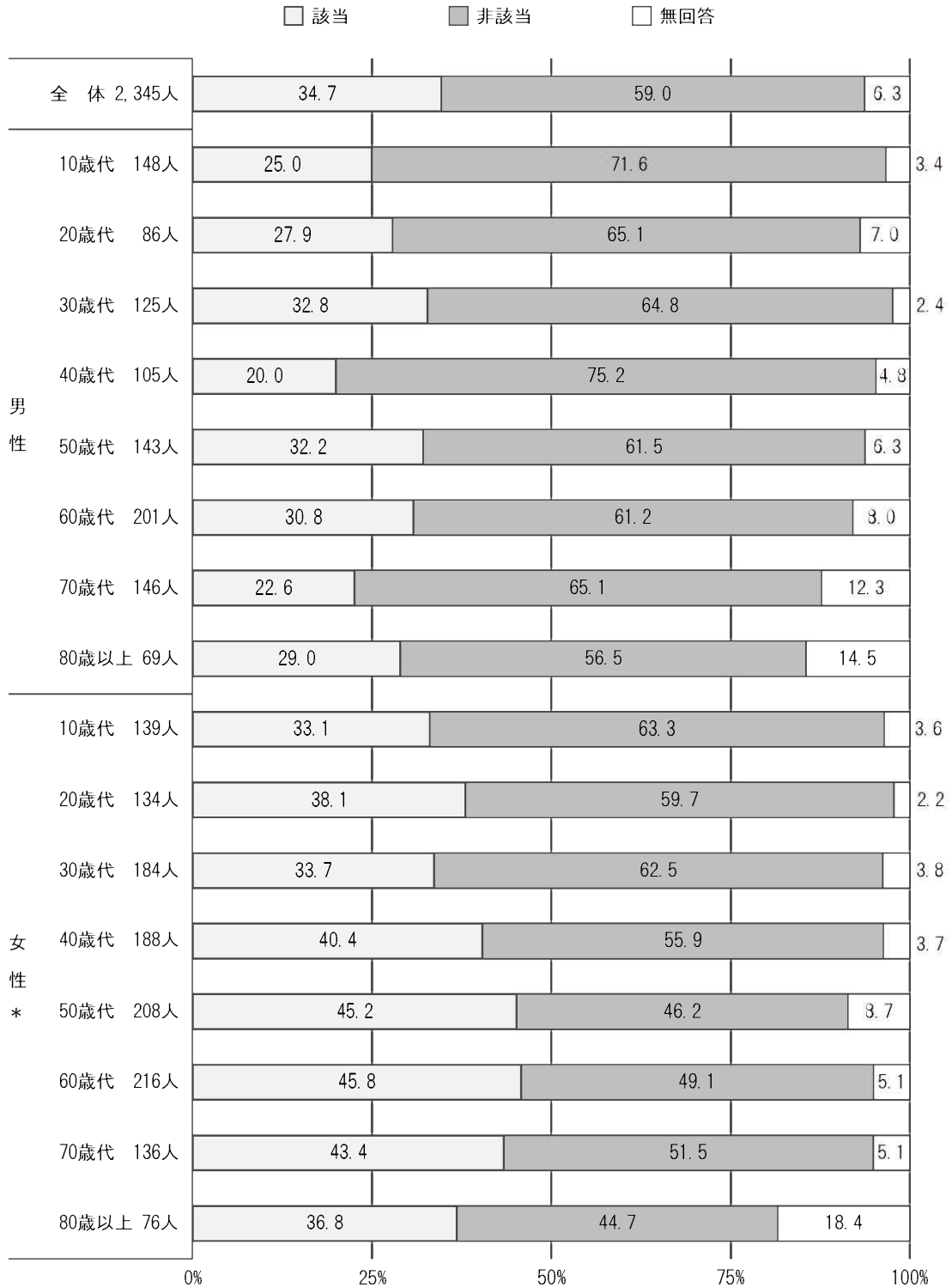
Ⅲ 調査結果

食中毒を防ぐ方法すべて気をつけている人の割合を性・年代別にみると、男性では「該当」が「40歳代」で20.0%となっています。

女性では「該当」が「50歳代」で45.2%と他の年代より有意に高く、「非該当」が「10歳代」で63.3%、「30歳代」で62.5%と有意に高くなっています。

※該当、非該当、無回答の条件は、P229 参照。

図 42★.2 食中毒を防ぐ方法すべて気をつけている〔性・年代別〕

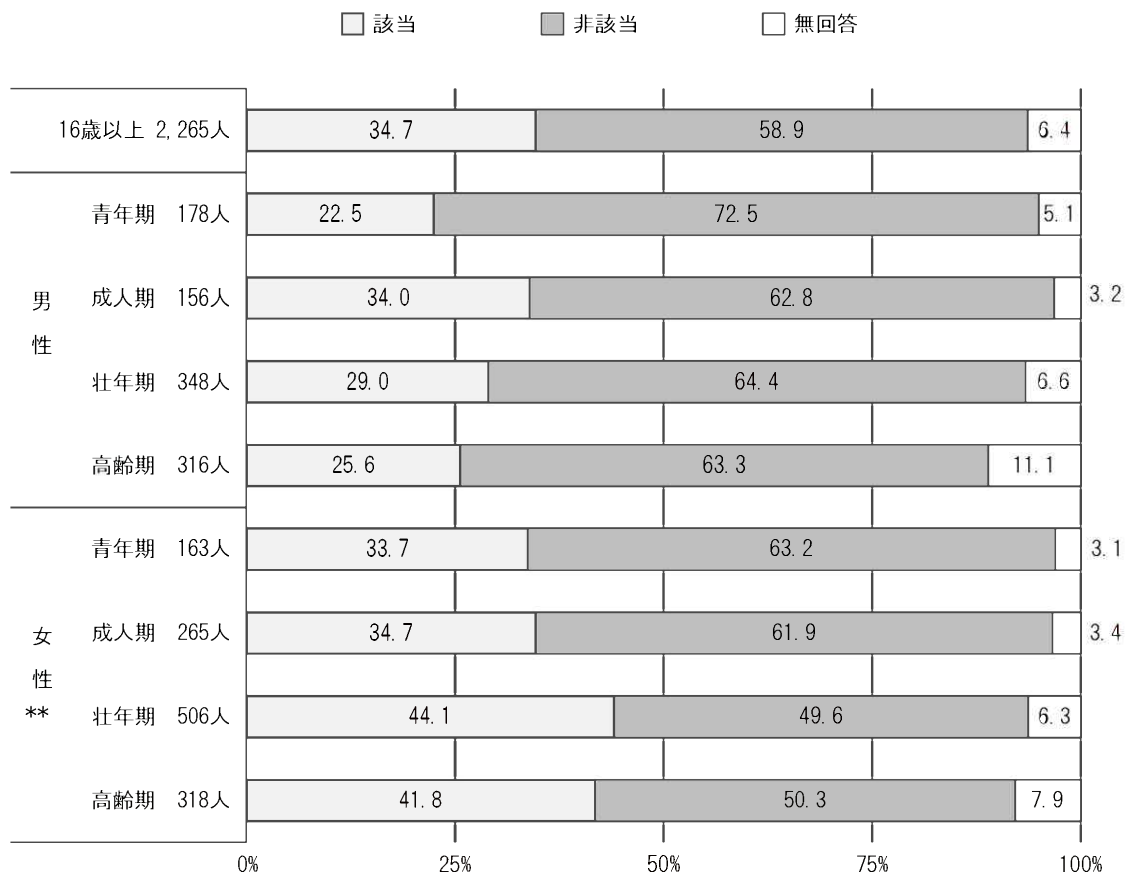


食中毒を防ぐ方法すべて気をつけている人の割合を性・ライフステージ別にみると、男性では「該当」が「成人期」で34.0%となっており、「非該当」が「青年期」で72.5%となっています。

女性では「該当」が「壮年期」で44.1%と有意に高く、「非該当」が「青年期」で63.2%、「成人期」で61.9%と他のライフステージより有意に高くなっています。

※該当、非該当、無回答の条件は、P229 参照。

図 42★.3 食中毒を防ぐ方法すべて気をつけている〔性・ライフステージ別〕



Ⅲ 調査結果

食中毒を防ぐ方法すべて気をつけている割合について、H23 年調査と比較すると、女性の「青年期」で 15.6 ポイント有意に増加しています。
H28 年調査と比較すると、男性の「成人期」で 18.5 ポイント増加しています。

表 42★ 食中毒を防ぐ方法すべて気をつけている割合〔経年比較〕

単位：％、ポイント

項目	H23 年調査	H28 年調査	今回調査	**		
				今回調査－ H23 年調査	今回調査－ H28 年調査	
16 歳以上	33.3	28.0	34.7	1.4	6.7	
男性	青年期	16.7	22.5	5.8	0.5	
	成人期	28.9	15.5	34.0	5.1	18.5
	壮年期	28.3	23.3	29.0	0.7	5.7
	高齢期	30.8	25.3	25.6	-5.2	0.3
女性	青年期	18.1	33.7	15.6	7.7	
	成人期	29.7	27.8	34.7	5.0	6.9
	壮年期	44.0	32.7	44.1	0.1	11.4
	高齢期	47.7	37.3	41.8	-5.9	4.5

計画における数値目標のデータ



食中毒を防ぐために、食品の保存方法、調理方法、調理器具の洗浄・消毒方法に気をつけている人の割合

- ・16 歳以上 34.7% (目標値 35%以上)
 <問 42 ア. イ. ウ. すべて「気をつけている」と答えた人の割合>

(43) あなたは、「伝統食」、「行事食」などの食文化を大切にしていますか。

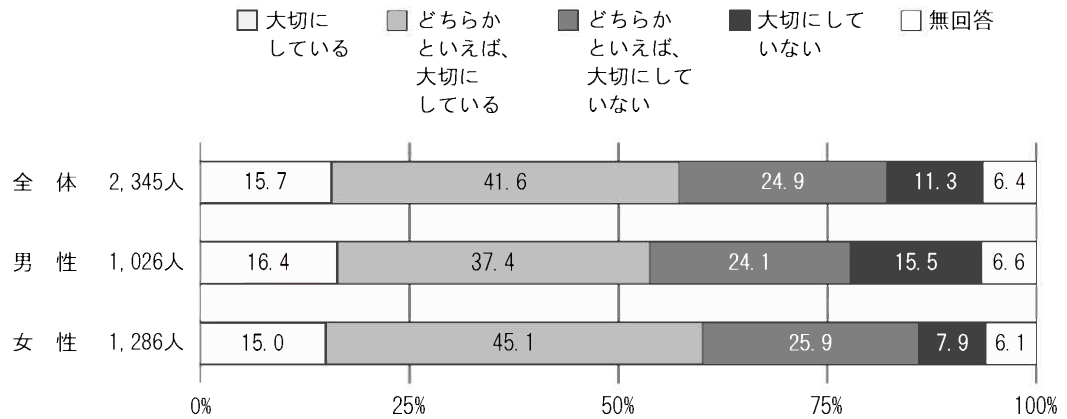
(○はア、イそれぞれに1つずつ) < B : 問 43 >

ア. 伝統食

伝統食を大切にしているかについて、「大切にしている」が15.7%、「どちらかといえば、大切にしている」が41.6%となっており、合わせて57.3%が大切にしています。

性別にみると、男性は「大切にしていない」が15.5%と、女性より7.6ポイント有意に高くなっています。

図 43-ア.1 伝統食を大切にしているか〔全体・性別〕**

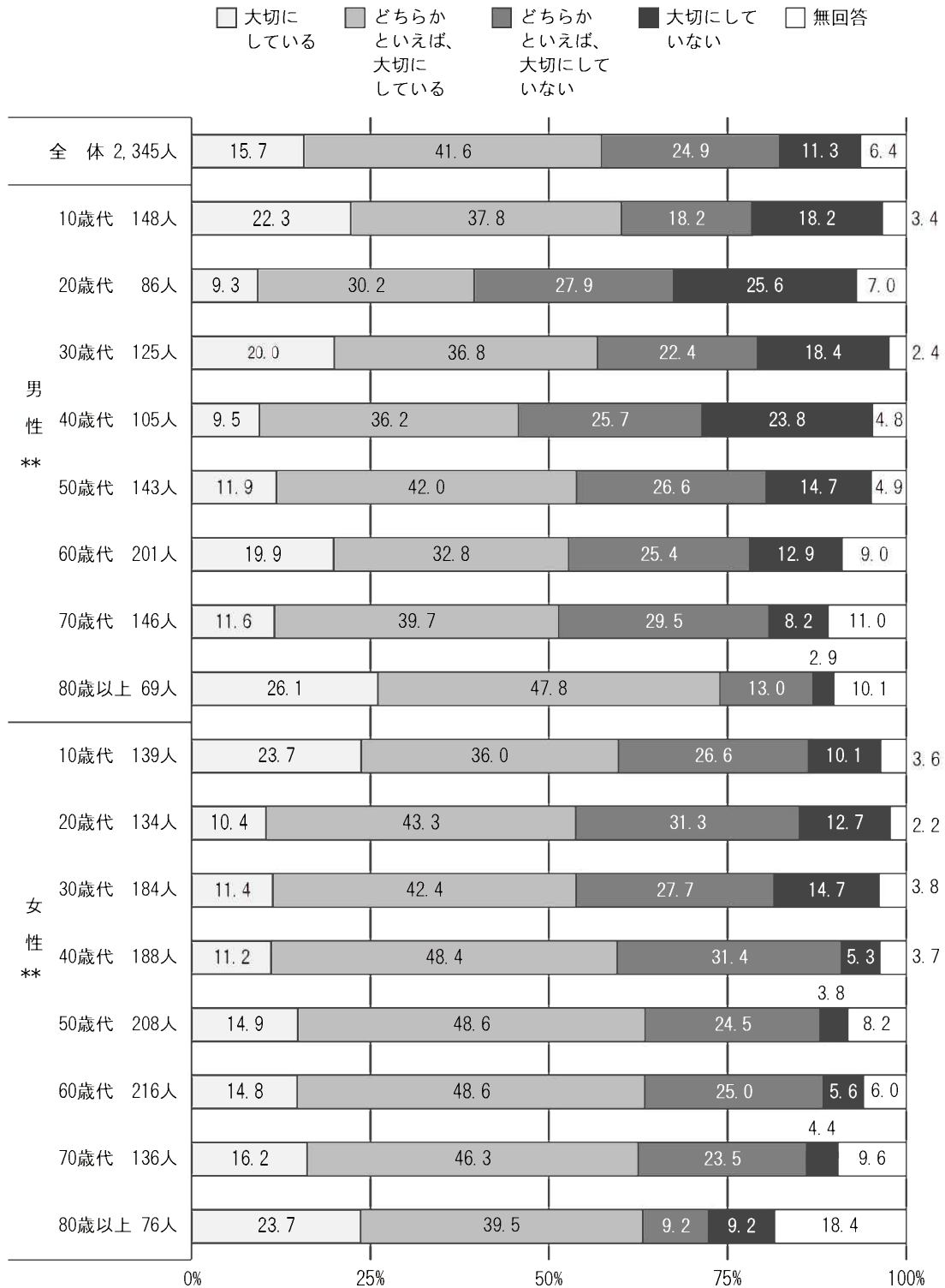


Ⅲ 調査結果

伝統食を大切にしているかについて性・年代別にみると、男性では「大切にしている」が「80歳以上」で26.1%と有意に高く、「大切にしていない」が「20歳代」で25.6%、「40歳代」で23.8%と他の年代より有意に高くなっています。

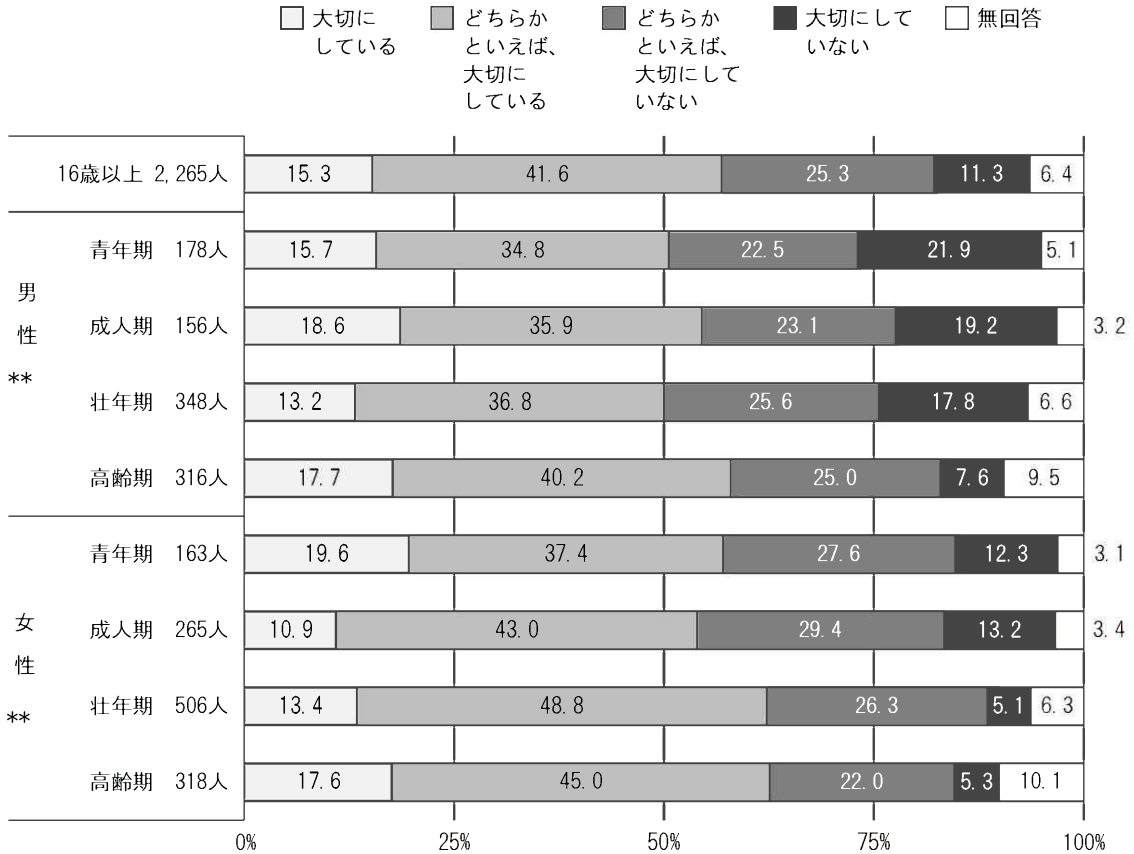
女性では「大切にしている」が「10歳代」で23.7%、「80歳以上」で23.7%と有意に高く、「大切にしていない」が「20歳代」で12.7%、「30歳代」で14.7%と有意に高くなっています。

図 43-ア.2 伝統食を大切にしているか〔性・年代別〕



伝統食を大切にしているかについて性・ライフステージ別にみると、男性では「大切にしている」が「青年期」で21.9%と他のライフステージより有意に高くなっています。
女性では「大切にしている」が「高齢期」で17.6%と有意に高く、「大切にしている」が「青年期」で12.3%、「成人期」で13.2%と有意に高くなっています。

図 43-ア.3 伝統食を大切にしているか〔性・ライフステージ別〕



伝統食を大切にしている割合について、H28年調査と比較すると、男性の「成人期」で9.9ポイント増加しています。

表 43-ア 伝統食を大切にしている割合〔経年比較〕

単位：％、ポイント

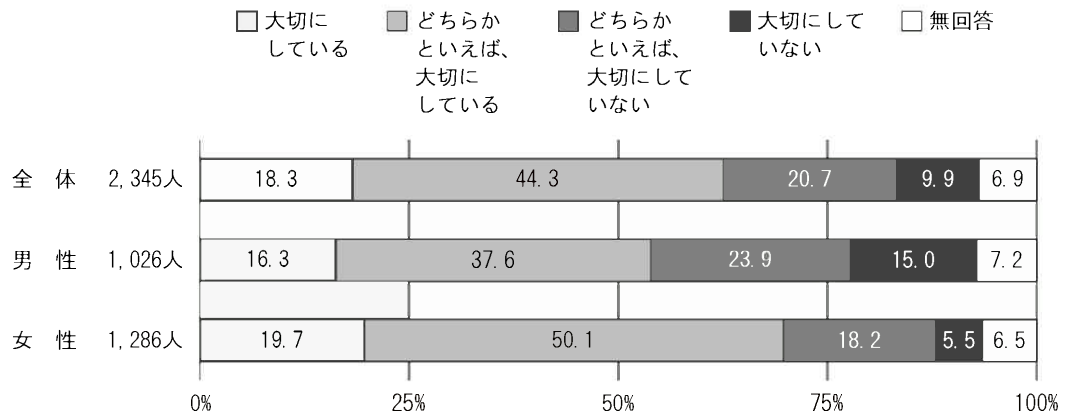
項目	H28年調査			今回調査			今回調査－H28年調査	
	大切にしている(1)	どちらかといえば、大切にしている(2)	A=(1)+(2)	大切にしている(3)	どちらかといえば、大切にしている(4)	B=(3)+(4)	B-A	
男性	青年期	12.7	33.3	46.0	15.7	34.8	50.6	4.6
	成人期	11.3	33.3	44.6	18.6	35.9	54.5	9.9
	壮年期	13.4	35.6	49.0	13.2	36.8	50.0	1.0
	高齢期	17.6	41.2	58.8	17.7	40.2	57.9	-0.9
女性	青年期	18.5	37.0	55.5	19.6	37.4	57.1	1.6
	成人期	10.9	45.9	56.8	10.9	43.0	54.0	-2.8
	壮年期	14.4	48.1	62.5	13.4	48.8	62.3	-0.2
	高齢期	16.9	49.6	66.5	17.6	45.0	62.6	-3.9

イ. 行事食

行事食を大切にしているかについて、「大切にしている」が 18.3%、「どちらかといえば、大切にしている」が 44.3%となっており、合わせて 62.6%が大切にしています。

性別にみると、男性は「大切にしていない」が 15.0%と、女性より 9.5 ポイント有意に高く、「どちらかといえば、大切にしている」が 23.9%と、女性より 5.7 ポイント有意に高くなっています。

図 43-イ.1 行事食を大切にしているか〔全体・性別〕**



計画における数値目標のデータ

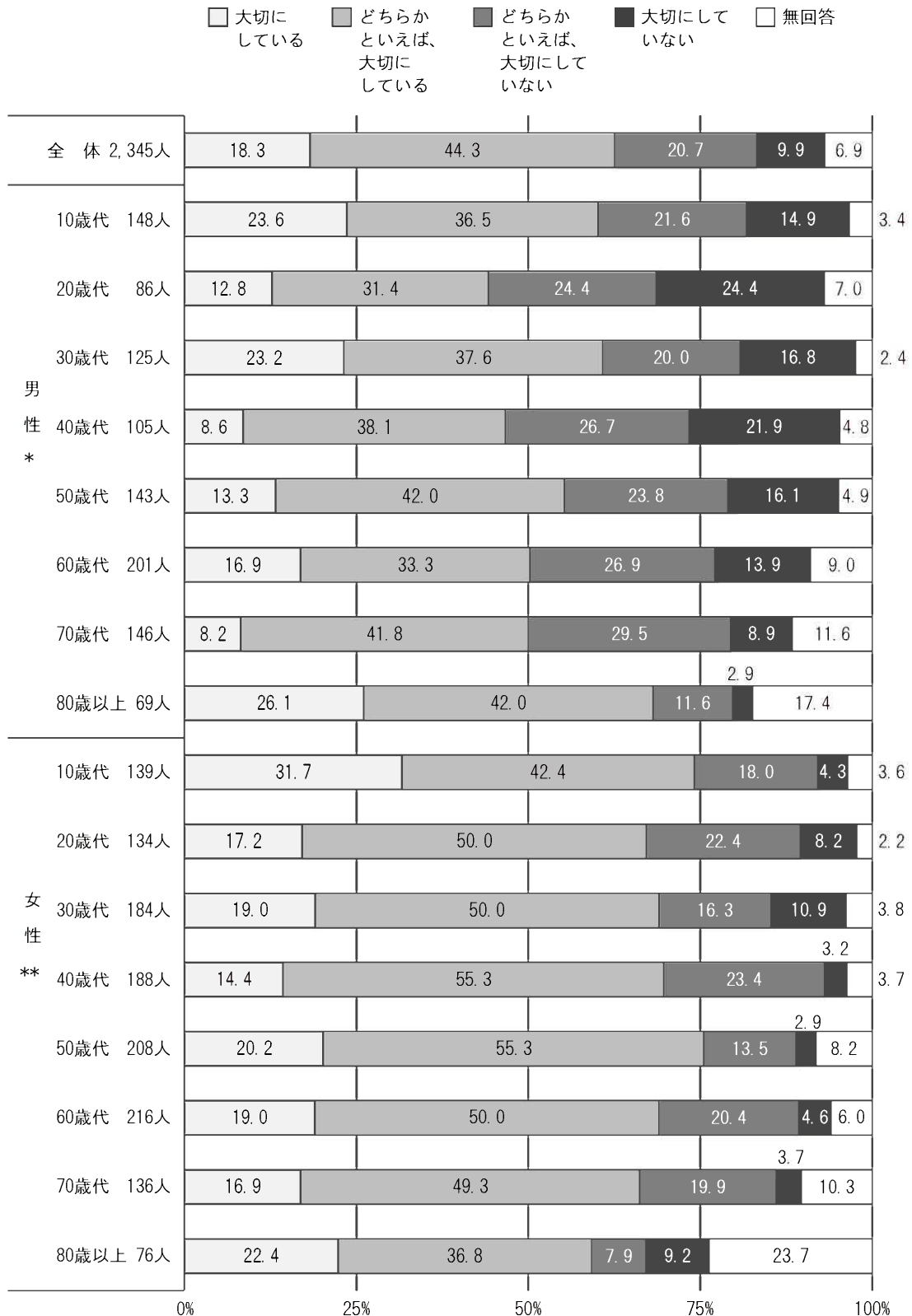


食文化を大切にしている人の割合

- ・16歳以上 62.3% (目標値 80%以上)
 <問 43 イ. で「大切にしている」「どちらかといえば、大切にしている」と答えた人の割合>

行事食を大切にしているかについて性・年代別にみると、男性では「大切にしている」が「10歳代」で23.6%、「80歳以上」で26.1%と他の年代より有意に高く、「大切にしていない」が「20歳代」で24.4%、「40歳代」で21.9%と有意に高くなっています。
 女性では「大切にしている」が「10歳代」で31.7%と有意に高く、「大切にしていない」が「30歳代」で10.9%、「80歳以上」で9.2%と有意に高くなっています。

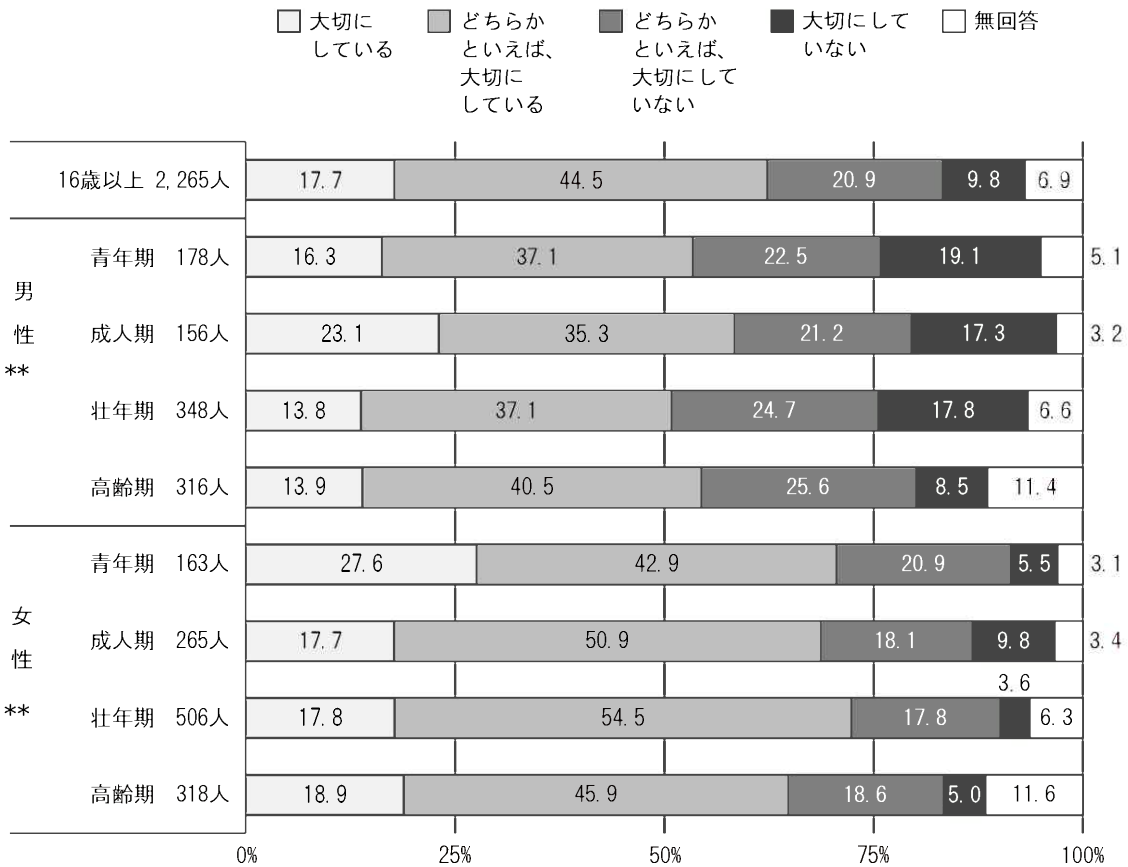
図 43-イ.2 行事食を大切にしているか〔性・年代別〕



Ⅲ 調査結果

行事食を大切にしているかについて性・ライフステージ別にみると、男性では「大切にしている」が「成人期」で23.1%と他のライフステージより有意に高くなっています。
女性では「大切にしている」が「青年期」で27.6%と有意に高く、「大切にしていない」が「成人期」で9.8%と有意に高くなっています。

図 43-イ.3 行事食を大切にしているか〔性・ライフステージ別〕



行事食を大切にしている割合について、H28年調査と比較すると、男性の「成人期」で7.7ポイント増加しています。

表 43-イ 行事食を大切にしている割合〔経年比較〕

単位：%、ポイント

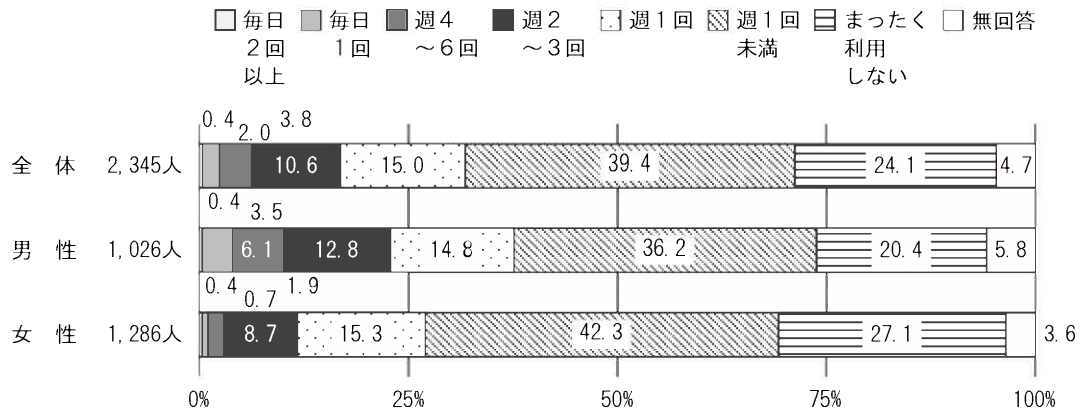
項目	H28年調査			今回調査			今回調査－H28年調査	
	大切にしている (1)	どちらかといえば大切にしている (2)	A = (1) + (2)	大切にしている (3)	どちらかといえば大切にしている (4)	B = (3) + (4)	B - A	
16歳以上	17.1	47.1	64.2	17.7	44.5	62.3	-1.9	
男性	青年期	15.3	42.7	58.0	16.3	37.1	53.4	-4.6
	成人期	10.7	39.9	50.6	23.1	35.3	58.3	7.7
	壮年期	14.7	38.5	53.2	13.8	37.1	50.9	-2.3
	高齢期	15.3	40.6	55.9	13.9	40.5	54.4	-1.5
女性	青年期	27.7	43.9	71.6	27.6	42.9	70.6	-1.0
	成人期	18.4	56.8	75.2	17.7	50.9	68.7	-6.5
	壮年期	17.2	56.2	73.4	17.8	54.5	72.3	-1.1
	高齢期	19.3	49.3	68.6	18.9	45.9	64.8	-3.8

(44) 外食（飲食店での食事）をどのくらい利用していますか。（〇は1つだけ）

<A：問17【1歳以上のみ】／B：問44>

外食の利用頻度は、「毎日2回以上」から「週1回」までを合わせた『週1回以上』が、15歳以上調査では31.8%となっています。
性別にみると、男性は「週2～3回」が12.8%と、女性より4.1ポイント有意に高くなっています。

図 44.1 外食の利用頻度（B：15歳以上調査）〔全体・性別〕**



外食の利用頻度を0～14歳調査で年代別にみると、「週2～3回」が「3～5歳」で12.0%となっています。

表 44.1 外食の利用頻度（A：0～14歳調査【1歳以上のみ】）〔年代別〕 単位：%

項目	回答者数(人)	毎日2回以上	毎日1回	週4～6回	週2～3回	週1回	週1回未満	まったく利用しない	無回答
全体	846	0.0	0.2	0.0	6.7	20.1	53.2	17.7	2.0
1～2歳	145	0.0	0.0	0.0	5.5	23.4	43.4	24.1	3.4
3～5歳	241	0.0	0.0	0.0	12.0	20.7	53.1	14.1	0.0
6～14歳	460	0.0	0.4	0.0	4.3	18.7	56.3	17.6	2.6

Ⅲ 調査結果

外食の利用頻度を性・ライフステージ別にみると、男性では「毎日1回」が「壮年期」で6.3%と有意に高く、「週1回」が「青年期」で15.7%、「成人期」で23.7%と他のライフステージより有意に高くなっています。

女性では「週2～3回」が「成人期」で15.1%と有意に高く、「全く利用しない」が「高齢期」で50.3%と有意に高くなっています。

表 44.2 外食の利用頻度（B：15歳以上調査）〔性・ライフステージ別〕

単位：%

項目		回答者数 (人)	毎日2回以上	毎日1回	週4～6回	週2～3回	週1回	週1回未満	まったく利用しない	無回答
16歳以上		2,265	0.4	2.0	3.9	10.7	15.1	39.3	23.8	4.6
男性**	青年期	178	0.0	0.6	5.1	14.6	15.7	44.4	13.5	6.2
	成人期	156	0.0	6.4	10.9	20.5	23.7	26.9	9.6	1.9
	壮年期	348	1.1	6.3	8.6	12.4	13.8	36.5	16.7	4.6
	高齢期	316	0.0	0.9	2.2	8.9	11.1	34.5	32.9	9.5
女性**	青年期	163	0.6	0.6	3.7	12.3	23.9	46.0	12.3	0.6
	成人期	265	0.8	1.1	2.6	15.1	21.5	39.2	15.1	4.5
	壮年期	506	0.4	1.0	1.8	7.7	15.6	49.0	23.1	1.4
	高齢期	318	0.0	0.0	0.6	3.8	6.0	31.8	50.3	7.5

外食の利用頻度を性・年代別にみると、男性では「毎日1回」が「30歳代」で7.2%、「40歳代」で8.6%、「50歳代」で7.7%と他の年代より有意に高く、「まったく利用しない」が「60歳代」で25.4%、「70歳代」で32.2%、「80歳以上」で39.1%と有意に高くなっています。

女性では「週2～3回」が「20歳代」で19.4%と有意に高く、「まったく利用しない」が「60歳代」で34.3%、「70歳代」で55.1%、「80歳以上」で53.9%と有意に高くなっています。

表 44.3 外食の利用頻度（B：15歳以上調査）〔性・年代別〕

単位：%

項目	回答者数（人）	毎日2回以上	毎日1回	週4～6回	週2～3回	週1回	週1回未満	まったく利用しない	無回答
全体	2,345	0.4	2.0	3.8	10.6	15.0	39.4	24.1	4.7
男性計 **	1,026	0.4	3.5	6.1	12.8	14.8	36.2	20.4	5.8
10歳代	148	0.0	0.0	2.7	12.2	13.5	48.0	17.6	6.1
20歳代	86	0.0	2.3	7.0	19.8	23.3	32.6	12.8	2.3
30歳代	125	0.0	7.2	12.8	20.0	22.4	28.0	7.2	2.4
40歳代	105	0.0	8.6	9.5	15.2	12.4	35.2	14.3	4.8
50歳代	143	2.1	7.7	12.6	12.6	9.1	36.4	15.4	4.2
60歳代	201	0.5	2.0	3.0	11.4	17.4	34.8	25.4	5.5
70歳代	146	0.0	0.7	1.4	7.5	6.2	39.7	32.2	12.3
80歳以上	69	0.0	0.0	1.4	4.3	18.8	27.5	39.1	8.7
女性計 **	1,286	0.4	0.7	1.9	8.7	15.3	42.3	27.1	3.6
10歳代	139	0.7	0.0	3.6	10.1	18.7	47.5	18.0	1.4
20歳代	134	0.7	1.5	3.0	19.4	20.9	38.8	11.9	3.7
30歳代	184	0.5	1.1	2.2	11.4	24.5	40.2	15.8	4.3
40歳代	188	0.5	1.1	1.6	8.0	16.0	55.3	17.0	0.5
50歳代	208	0.0	1.0	2.9	7.7	16.8	43.3	26.4	1.9
60歳代	216	0.5	0.5	0.0	6.0	10.2	45.4	34.3	3.2
70歳代	136	0.0	0.0	0.7	3.7	6.6	28.7	55.1	5.1
80歳以上	76	0.0	0.0	1.3	2.6	2.6	23.7	53.9	15.8

Ⅲ 調査結果

外食の利用頻度について、H29年調査と比較すると、0～14歳調査では、「まったく利用しない」が17.7%と11.2ポイント有意に増加しています。

H28年調査と比較すると、15歳以上調査では、「まったく利用しない」が24.1%と11.4ポイント有意に増加しています。

図 44.2 外食の利用頻度（A：0～14歳調査【1歳以上のみ】）〔経年比較〕**

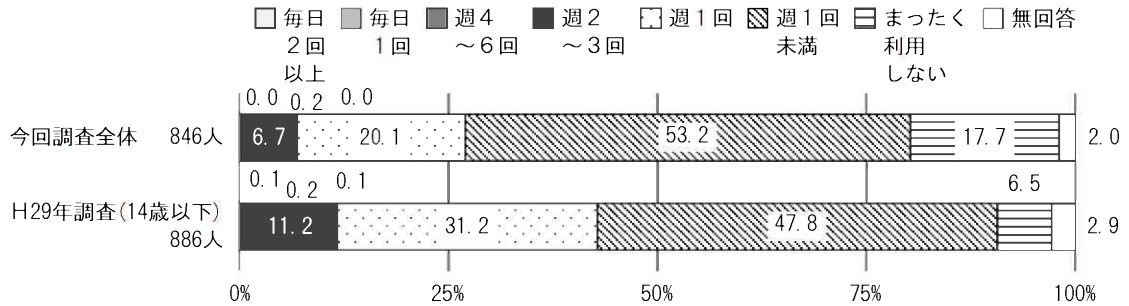
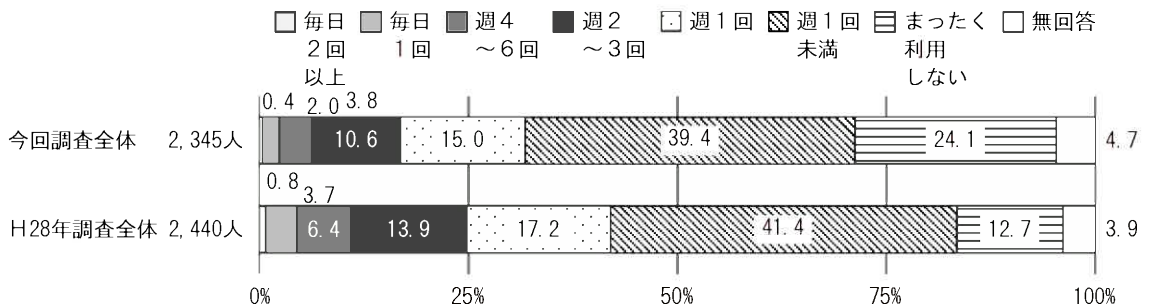


図 44.3 外食の利用頻度（B：15歳以上調査）〔経年比較〕**



外食の利用頻度について、H24年調査と比較すると、15歳以上調査では、『週1回以上』が31.8%と6.2ポイント減少しています。

表 44.4 外食の利用頻度（週1回以上）〔経年比較〕 単位：%、ポイント

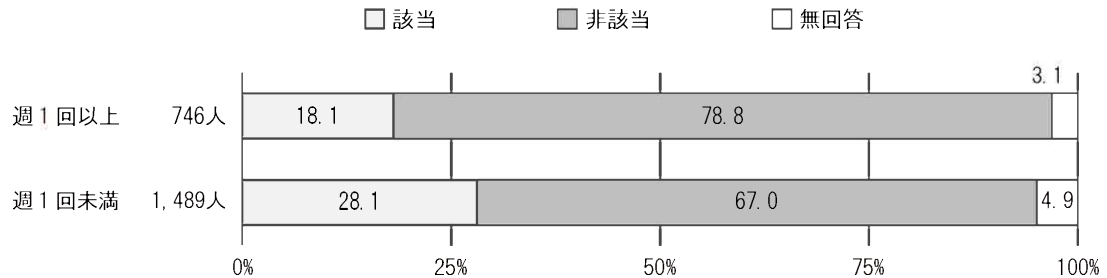
項目	H24年調査	H28年調査	今回調査	今回調査－H24年調査	今回調査－H28年調査
週1回以上	38.0	42.0	31.8	-6.2	-10.2

※H24年調査は回数についての選択肢が異なるため、『週1回以上』と合計した形で比較しています。

外食の利用頻度ごとに「毎日、三食野菜を食べている」かをみると、「週1回未満」では「該当」が28.1%と、「週1回以上」より10.0ポイント有意に高くなっています。

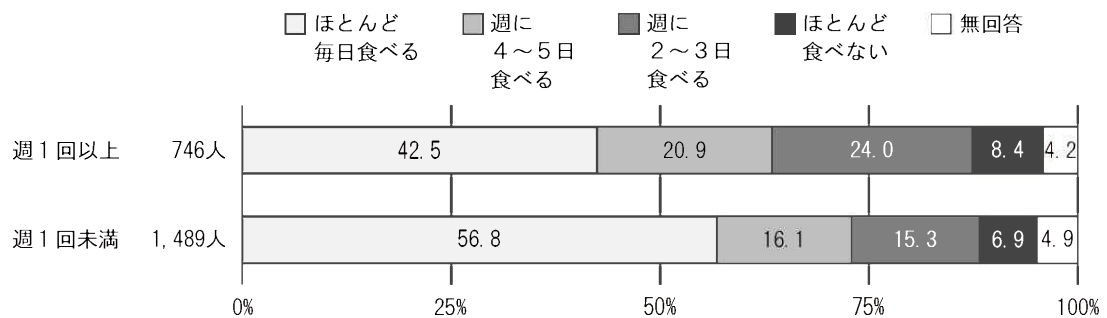
※該当、非該当、無回答の条件は、P183 参照。

図 44.4 毎日、三食野菜を食べている（B：15歳以上調査）〔外食の利用頻度別〕**



外食の利用頻度ごとに「1日2回以上主食・主菜・副菜がそろった食事をする頻度」をみると、「週1回未満」では「ほとんど毎日食べる」が56.8%と、「週1回以上」より14.3ポイント有意に高くなっています。

図 44.5 1日2回以上主食・主菜・副菜がそろった食事をする頻度（B：15歳以上調査）〔外食の利用頻度別〕**



Ⅲ 調査結果

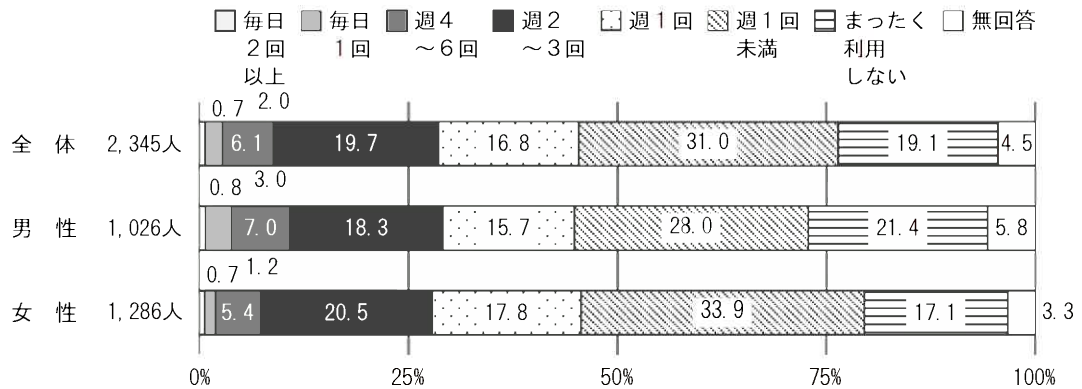
(45) 持ち帰りの弁当や惣菜をどのくらい利用していますか。(〇は1つだけ)

< A : 問 18 【1歳以上のみ】 / B : 問 45 >

持ち帰りの弁当や惣菜の利用頻度は、「毎日2回以上」から「週1回」までを合わせた『週1回以上』が、15歳以上調査では45.4%となっています。

性別にみると、男性では「まったく利用しない」が21.4%と、女性より4.3ポイント有意に高くなっています。

図 45.1 持ち帰りの弁当や惣菜の利用頻度 (B : 15歳以上調査) [全体・性別]**



持ち帰りの弁当や惣菜の利用頻度を0~14歳調査で年代別にみると、「全く利用しない」が「1~2歳」で28.3%と他の年齢より有意に高くなっています。

表 45.1 持ち帰りの弁当や惣菜の利用頻度 (A : 0~14歳調査【1歳以上のみ】) [年代別]** 単位 : %

項目	回答者数 (人)	毎日2回以上	毎日1回	週4~6回	週2~3回	週1回	週1回未満	まったく利用しない	無回答
全体	846	0.1	0.4	1.4	16.9	21.7	41.5	15.8	2.1
1~2歳	145	0.7	0.0	2.8	11.7	18.6	34.5	28.3	3.4
3~5歳	241	0.0	0.0	1.7	21.2	23.7	40.7	12.0	0.8
6~14歳	460	0.0	0.7	0.9	16.3	21.7	44.1	13.9	2.4

持ち帰りの弁当や惣菜の利用頻度を性・ライフステージ別にみると、男性では「週2～3回」が「壮年期」で22.7%と他のライフステージより有意に高く、「全く利用しない」が「青年期」で30.9%、「高齢期」で25.0%と有意に高くなっています。

女性では「週2～3回」が「成人期」で24.9%と有意に高く、「全く利用しない」が「青年期」で25.8%、「高齢期」で24.5%と有意に高くなっています。

表 45.2 持ち帰りの弁当や惣菜の利用頻度（B：15歳以上調査）〔性・ライフステージ別〕 単位：%

項目		回答者数 (人)	毎日2回以上	毎日1回	週4～6回	週2～3回	週1回	週1回未満	まったく利用しない	無回答
16歳以上		2,265	0.8	2.0	6.2	19.7	17.0	31.0	18.9	4.5
男性**	青年期	178	1.1	2.2	3.9	19.7	13.5	23.0	30.9	5.6
	成人期	156	0.6	4.5	9.6	16.0	21.2	28.2	17.9	1.9
	壮年期	348	0.6	3.7	10.1	22.7	16.7	27.9	14.1	4.3
	高齢期	316	0.9	1.6	4.4	14.6	13.3	30.4	25.0	9.8
女性**	青年期	163	1.2	2.5	4.3	12.3	17.8	35.6	25.8	0.6
	成人期	265	1.5	1.9	7.9	24.9	16.6	29.1	13.6	4.5
	壮年期	506	0.6	0.8	6.5	23.7	20.2	36.0	10.9	1.4
	高齢期	318	0.0	0.9	2.5	16.4	15.7	33.3	24.5	6.6

Ⅲ 調査結果

持ち帰りの弁当や惣菜の利用頻度を性・年代別にみると、男性では「週2～3回」が「50歳代」で26.6%と他の年代より有意に高く、「まったく利用しない」が「10歳代」で28.4%、「20歳代」で31.4%、「80歳以上」で33.3%と有意に高くなっています。

女性では「週2～3回」が「50歳代」で26.4%と有意に高く、「まったく利用しない」が「10歳代」で28.8%、「70歳代」で29.4%、「80歳以上」で30.3%と有意に高くなっています。

表 45.3 持ち帰りの弁当や惣菜の利用頻度（B：15歳以上調査）〔性・年代別〕 単位：%

項目	回答者数 (人)	毎日 2回以上	毎日 1回	週 4～ 6回	週 2～ 3回	週 1回	週 1回未 満	ま っ た く 利 用 し な い	無 回 答
全 体	2,345	0.7	2.0	6.1	19.7	16.8	31.0	19.1	4.5
男性計 **	1,026	0.8	3.0	7.0	18.3	15.7	28.0	21.4	5.8
10歳代	148	0.7	2.7	4.1	14.9	14.2	29.7	28.4	5.4
20歳代	86	1.2	2.3	5.8	20.9	18.6	17.4	31.4	2.3
30歳代	125	0.8	4.8	9.6	18.4	19.2	28.0	16.8	2.4
40歳代	105	0.0	4.8	11.4	18.1	22.9	29.5	8.6	4.8
50歳代	143	1.4	3.5	9.8	26.6	13.3	28.0	13.3	4.2
60歳代	201	1.0	2.5	8.0	22.9	13.4	25.9	20.9	5.5
70歳代	146	0.7	0.7	2.7	10.3	11.0	37.7	24.0	13.0
80歳以上	69	0.0	2.9	4.3	10.1	20.3	21.7	33.3	7.2
女性計 **	1,286	0.7	1.2	5.4	20.5	17.8	33.9	17.1	3.3
10歳代	139	1.4	0.7	2.9	10.8	16.5	37.4	28.8	1.4
20歳代	134	0.7	3.0	9.0	23.1	13.4	30.6	16.4	3.7
30歳代	184	1.6	2.2	6.5	23.9	19.6	28.3	13.6	4.3
40歳代	188	1.1	0.0	6.4	22.9	19.7	37.8	11.7	0.5
50歳代	208	0.5	1.0	5.8	26.4	21.2	32.7	10.6	1.9
60歳代	216	0.0	1.4	5.6	21.8	18.1	38.4	12.0	2.8
70歳代	136	0.0	0.0	0.7	13.2	15.4	36.0	29.4	5.1
80歳以上	76	0.0	2.6	5.3	11.8	14.5	22.4	30.3	13.2

持ち帰りの弁当や惣菜の利用頻度について、H29 年調査と比較すると、0～14 歳調査では、「まったく利用しない」が 15.8%と 3.7 ポイント増加しています。

H28 年調査と比較すると、15 歳以上調査では、「まったく利用しない」が 19.1%と 6.6 ポイント有意に増加しています。

図 45.2 持ち帰りの弁当や惣菜の利用頻度（A：0～14 歳調査【1 歳以上のみ】）〔経年比較〕

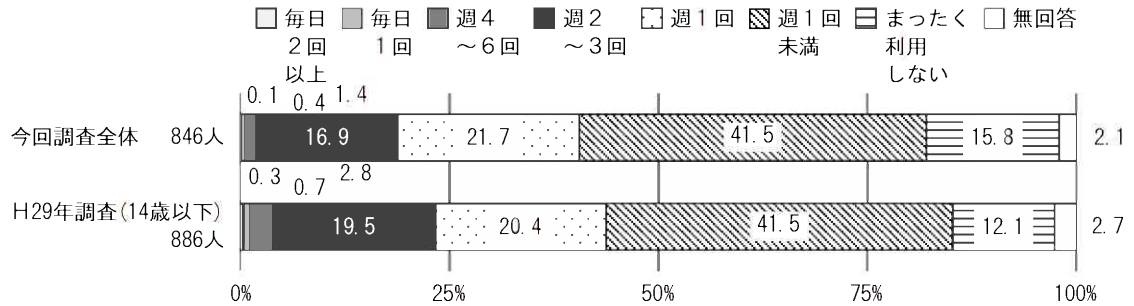
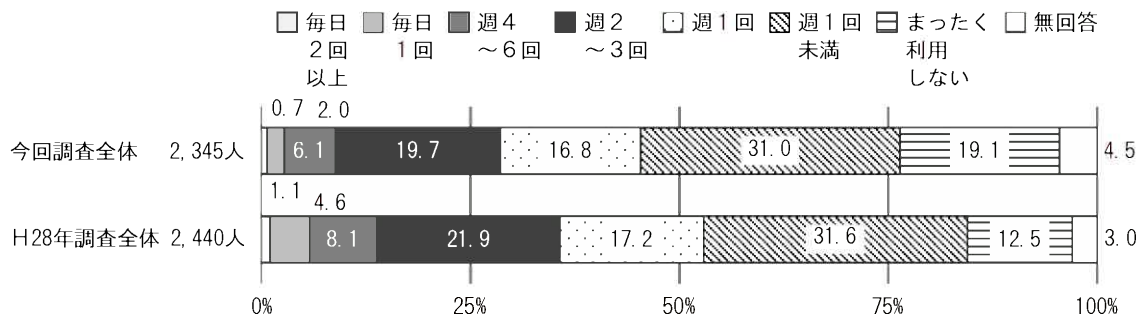


図 45.3 持ち帰りの弁当や惣菜の利用頻度（B：15 歳以上調査）〔経年比較〕**

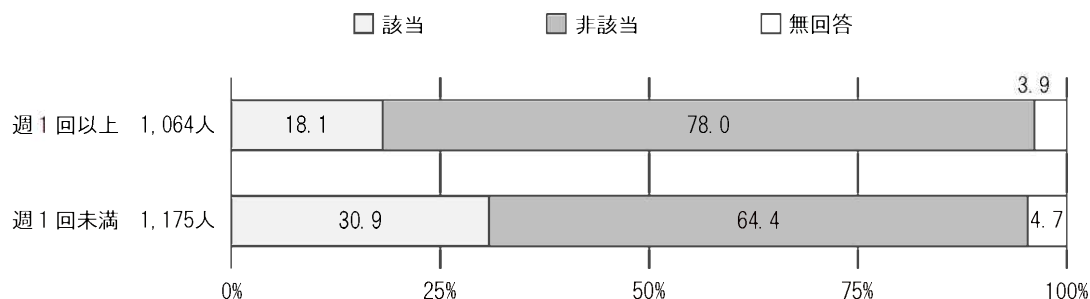


Ⅲ 調査結果

持ち帰りの弁当や惣菜の利用頻度ごとに「毎日、三食野菜を食べている」かをみると、「週1回未満」では「該当」が30.9%と、「週1回以上」より12.8ポイント有意に高くなっています。

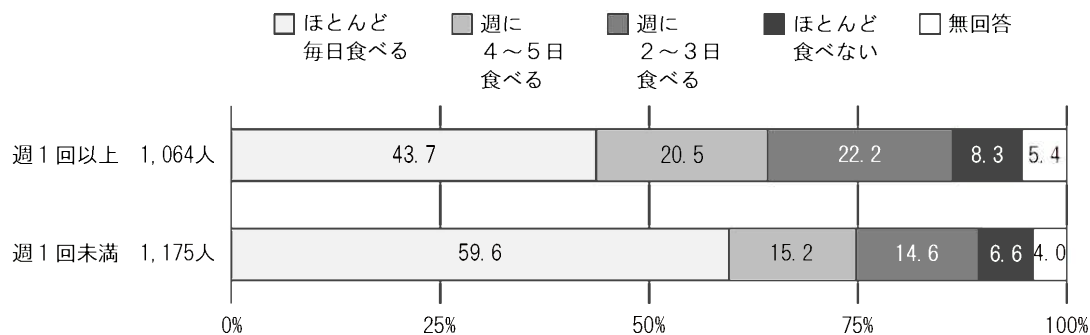
※該当、非該当、無回答の条件は、P183 参照。

図 45.4 毎日、三食野菜を食べている（B：15歳以上調査）〔持ち帰りの弁当や惣菜の利用頻度別〕**



持ち帰りの弁当や惣菜の利用頻度ごとに「1日2回以上主食・主菜・副菜がそろった食事をする頻度」をみると、「週1回未満」では「ほとんど毎日食べる」が59.6%と、「週1回以上」より15.9ポイント有意に高くなっています。

図 45.5 1日2回以上主食・主菜・副菜がそろった食事をする頻度（B：15歳以上調査）**
〔持ち帰りの弁当や惣菜の利用頻度別〕

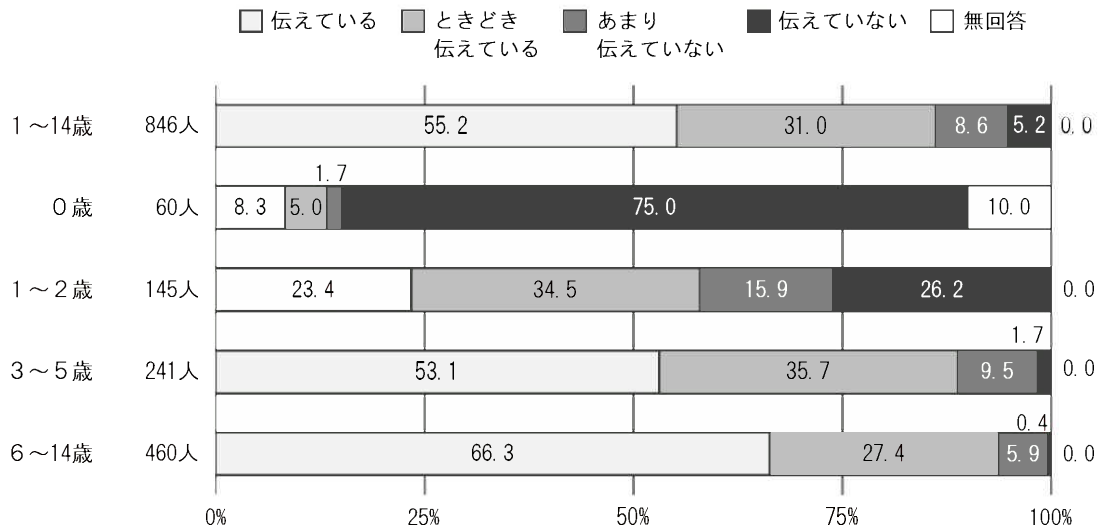


(46) 箸の持ち方や食器の並べ方など、食事の行儀作法について、お子さんに伝えてい
ますか。(〇は1つだけ) < A : 問 13 >

食事の行儀作法は、「伝えている」が55.2%で最も高く、次いで「ときどき伝えている」が31.0%となっています。

年齢別にみると、「伝えている」が「6～14歳」で66.3%と他の年齢より有意に高く、「あまり伝えていない」が「1～2歳」で15.9%と有意に高くなっています。

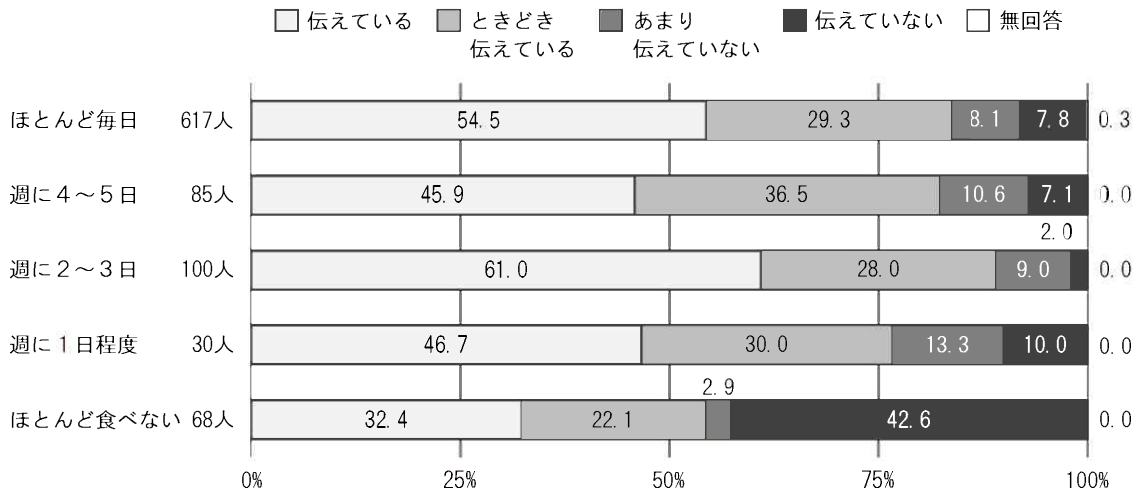
図 46.1 食事の行儀作法〔年齢別〕**



Ⅲ 調査結果

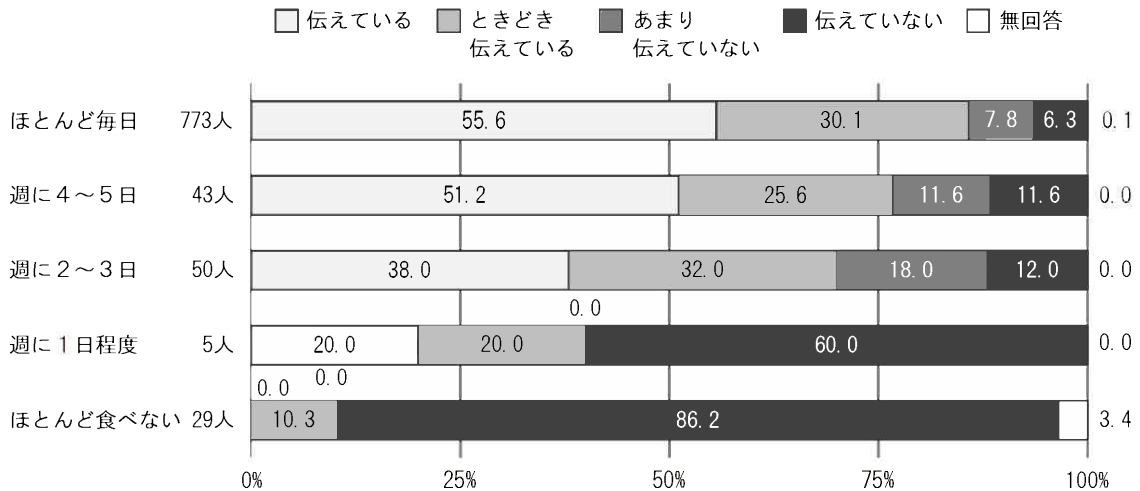
食事の行儀作法について、朝食を家族と一緒に食べる頻度別にみると、「伝えている」が「週に2～3日食べる」で61.0%となっており、「伝えていない」が「ほとんど食べない」で42.6%と週に1日程度以上より有意に高くなっています。

図 46.2 食事の行儀作法〔朝食を家族と一緒に食べる頻度別〕**



食事の行儀作法について、夕食を家族と一緒に食べる頻度別にみると、「伝えている」が「ほとんど毎日」で55.6%となっており、「伝えていない」が「ほとんど食べない」で86.2%となっています。

図 46.3 食事の行儀作法〔夕食を家族と一緒に食べる頻度別〕



計画における数値目標のデータ



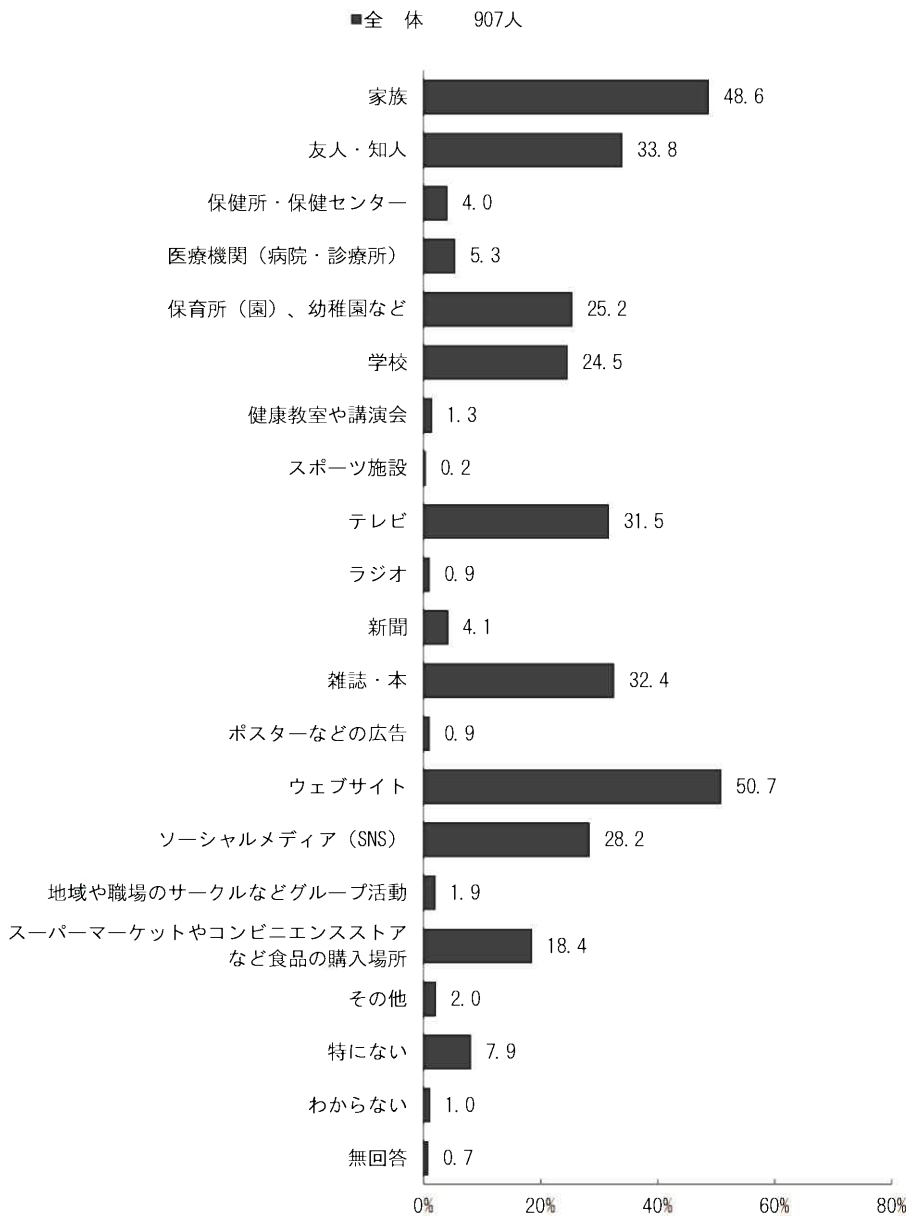
箸の持ち方や食器の並べ方など、食事の行儀作法について子どもに伝えている家庭の割合

- ・1～15歳の子どもがいる家庭 86.2%(目標値 増える(ベース値 84.8%))
 <A: 問13で「伝えている」「ときどき伝えている」と答えた人の割合
 (今回調査は1～14歳の子どもがいる家庭)>

(47) お子さんの食事に関する情報は、何から得ていますか。(〇はあてはまるものすべて)
「18. その他」を選んだ場合は、その内容を記入してください。〈A：問16〉

食事に関する情報の入手先は、「ウェブサイト」が50.7%と最も高く、次いで「家族」が48.6%、「友人・知人」が33.8%となっています。

図47 食事に関する情報の入手先〔全体〕



「その他」の内容	
項目	件数
自分の知識	4
生協、宅配	3
配布物	3
ブログ、ゲーム	2
地域	2
親族	1
その他	2

Ⅲ 調査結果

食事に関する情報の入手先を年齢別にみると、「保健所・保健センター」が「0歳」で18.3%、「医療機関（病院・診療所）」が「0歳」で13.3%と他の年齢より有意に高くなっています。また、「ソーシャルメディア（SNS）」が「0歳」で50.0%、「1～2歳」で44.1%と有意に高く、「家族」が「6～14歳」で53.0%と有意に高くなっています。

表 47 食事に関する情報の入手先（複数回答）〔年齢別〕

単位：%

項目	回答者数（人）	*		**	**	**	**			**		**
		家族	友人・知人	保健所・保健センター	医療機関（病院・診療所）	保育所（園）、幼稚園など	学校	健康教室や講演会	スポーツ施設	テレビ	ラジオ	新聞
全体	907	48.6	33.8	4.0	5.3	25.2	24.5	1.3	0.2	31.5	0.9	4.1
0歳	60	38.3	38.3	18.3	13.3	16.7	0.0	3.3	0.0	6.7	0.0	0.0
1～2歳	145	43.4	35.2	6.2	8.3	42.1	0.7	0.0	0.0	13.8	0.7	0.0
3～5歳	241	45.6	31.5	4.6	5.4	57.7	3.7	1.7	0.4	29.0	0.4	2.1
6～14歳	460	53.0	33.9	1.1	3.3	4.1	46.1	1.3	0.2	41.7	1.3	7.0

項目	回答者数（人）	**		*	**	**	**					
		雑誌・本	ポスターなどの広告	ウェブサイト	ソーシャルメディア（SNS）	地域や職場のサークルなどグループ活動	スーパーマーケットやコンビニエンスストアなど食品の購入場所	その他	特にない	わからない	無回答	
全体	907	32.4	0.9	50.7	28.2	1.9	18.4	2.0	7.9	1.0	0.7	
0歳	60	53.3	0.0	68.3	50.0	1.7	3.3	1.7	3.3	0.0	1.7	
1～2歳	145	40.0	0.0	50.3	44.1	0.7	9.7	2.1	4.8	0.0	0.0	
3～5歳	241	30.3	0.8	51.0	30.3	2.1	14.9	1.7	9.5	0.8	0.0	
6～14歳	460	28.5	1.3	48.5	19.3	2.0	25.0	2.2	8.7	1.5	1.1	